

# **海の森水上競技場**

## **指定管理者審査**

## **提案書類（事業計画書）**

---

団体名 **海の森水上競技場マネジメント共同企業体**

---

所在地 **東京都文京区関口1丁目47番12号江戸川橋ビル2階**

---

代表者名 **一般財団法人 公園財団 理事長 薩茂 寿太郎**

---

## 事業計画書様式一覧

提 案 課 題		ページ			
1 事 業 計 画 書	提案課題 1 管理運営の基本方針	1			
	提案課題 2 施設の提供、運営に関する業務	1 施設の提供	(1) 休館日及び開場時間 8 (2) 利用の調整 9 (3) 利用料金 10		
		2 施設の運営	(1) 競技コース等運営業務 13 (2) 水門・揚排水ポンプ運営業務 15 (3) 船庫運営業務 16		
		3 施設内サービス及び東京2020大会のメモリアルの展示	(1) 施設内サービスに関する業務 19 (2) 東京2020大会のメモリアルの展示に関する業務 21		
	提案課題 3 スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務	1 事業の提供	(1) スポーツ振興事業 22 (別表)事業実施計画 24 (2) 自主事業 28 (別表)事業実施計画 30 (3) 周辺連携事業 32 (別表①)事業実施計画[収支計画が作成可能な事業] 35 (別表②)事業実施計画[構想段階の事業] 36 (4) 利用者に対するサービス提供事業 37 (別表)事業実施計画 38		
			2 施設の事業を支える仕組み	(1) 広報 40	
			提案課題 4 組織及び人材	1 効果的かつ効率的な組織体制の確保	41
				(別表)各部門の所要人員	42
				2 明確な責任体制の構築	43
				3 適切な勤務体制等	44
提案課題 5 施設の維持管理その他管理運営に関する業務			4 人材育成の取組	46	
			1 施設、附属設備及び物品の維持管理	(1) 施設、附属設備及び物品の維持管理 47 (2) 施設の修繕 48	
				2 その他管理運営に関する事項	(1) 危機管理及び災害対応 50 (2) 地球環境への配慮 53 (3) 個人情報の保護 54
				提案課題 6 収支計画	55
	(別表)指定管理期間中の収支計画	58・59			
(別紙1)収支計画の積算内訳	60・61				
(別紙2)⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳	62				

※ 様式に記載しきれない場合は、同様の書式で別紙（A4）を作成してください。

## 提案課題 1 [ 管理運営の基本方針 ]

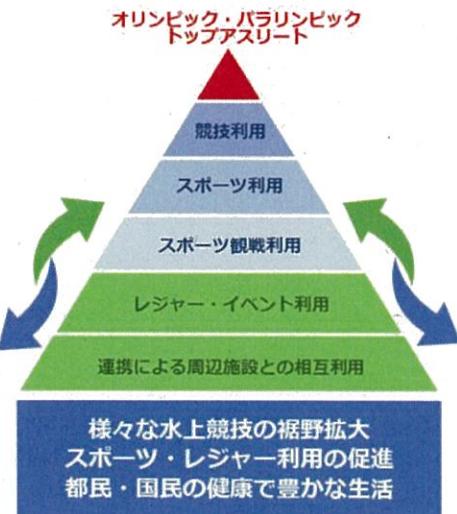
## ○基本方針

## ＜海の森水上競技場についての基本認識＞

◇海の森水上競技場（以下「当施設」という。）は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020」という。）のボート、カヌー会場として設置され、高質な競技環境であることが第一義です。しかしこの時代、それだけで後世の評価を得るのは困難です。**様々な水上競技の裾野拡大への貢献**、その立地から都民・国民のスポーツ・レジャー利用の促進に役立つこと、加えて**健康で豊かな生活を牽引する場**となること、多層・多次元の役割を持つことが重要であると認識します。

◇国際貿易の拠点・東京港を国際交流の拠点ともするため、玄関に位置する人工島を当施設の整備を機にパラダイムチェンジします。360度の海面と高層ビル群が描くスカイライン、建築美を魅せる東京ゲートブリッジ、羽田空港を頻繁に発着する飛行機の流動景観が楽しめる絶好の場所性を活かし、非日常感と高揚感を高めます。さらに、海の森公園（仮称）との連携により、これまで未体験の豊かで潤いのある環境体験を世界都市・東京の真ん中で実現します。

◇この素晴らしい環境の中で開催される東京2020では、国内外の多くの人々に唯一無二の感動と記憶に残る時の提供、ならびに日本及び東京の成熟した姿を強く印象づける役割が、競技環境や大会運営を通して求められています。そこで私たちは当施設の役割を、**世界水準のサービスと「おもてなし」の提供**にあると認識し、準備・大会・大会終了後の3期間の任務を禦(たすき)としてつなぐことで“レガシーの創出”になると考えます。



#### ＜当共同企業体における管理運営の4つの柱＞

## 1. 東京 2020 の感動を次世代へとつなぐ、世界に誇れる「水上競技の聖地」を創造

当共同企業体の持つスポーツ・レジャー施設と国際競技大会で培った経験と知恵を結集し、世界最大のスポーツの祭典の成功に最大限尽力します。また、東京 2020 の感動を次世代につないでいく取組で、**水上競技の普及振興とアスリート育成の核となる「水上競技の聖地」**を創造します。

2. 「海・森・人」3つの魅力の融合で“にぎわい”を創出し、アーバン・リゾートを実現

東京 2020 終了後は、スポーツ・レジャーを通じて多くの人々が楽しみ、輝くことのできる”にぎわい”を創出し、この人工島をこれまでの物流拠点からヒト・コトの交流拠点として価値を発揮するとともに、成熟都市・東京にふさわしい、水と緑の豊かさ、大きさを体感できる自然回帰型のアーバン・リゾートを提供します。

3. あらゆる人のチャレンジ精神を全面サポートし、インクルーシブな社会の実現に寄与

東京都が掲げる施策のひとつである「多様性を互いに尊重しあう共生社会の実現」を念頭に置き、当共同企業体の障がい者スポーツ支援事業のノウハウを活かし、様々な目標に向かってチャレンジするトップアスリートから、障がい者アスリート、老若男女を問わず、**一人ひとりに寄り添ったサポートを提供**します。

#### 4. 新規恒久施設を核に地域社会・都民と共に成長するエリアマネジメントを推進

海の森公園（仮称）、若洲海浜公園、東京ゲートブリッジなどの地域資源の連携利活用に取組み、エリア一体の“レガシー創出”を図ります。そして、東京港の玄関に位置するこの島への愛着心を醸成しながら地域コミュニティ形成に努め、**新規恒久施設を核にエリアマネジメントを推進する先駆的存在**になります。

事業者名・団体名 海の森水上競技場マネジメント共同企業体

## 提案課題1〔管理運営の基本方針〕

### <管理運営のスローガン>

私たちは、共同して「一生懸命に漕ぎます」  
あらゆる人々のチャレンジと心と体の健康のために  
世界ならびに次世代に誇れるレガシーとすることを願い、未来志向を信念に着実なマネジメントに挑戦します



### Rowing for the LEGACY ! Rowing to the FUTURE !

私たちは、東京 2020 のレガシー創出と  
輝かしい未来に向かって漕ぎ出します

### <当共同企業体の管理運営体制>

当共同企業体を構成する全4団体の管理運営技術を結集し、それぞれの強みを発揮することで、当施設にとって効果的なマネジメントを実現できるチームを結成しました。あわせて、全国に広がるネットワークを駆使し、多様な主体との連携・協働により、専門性と信頼性の高い公共施設マネジメントを実践します。

代表団体	一般財団法人 公園財団
事業概要	全国 12 の国営公園、都内 1 つの国営公園、都内 5 つの都市公園をはじめとした公共施設等の管理運営業務
本業務の役割	統括業務、東京都対応業務、施設提供・運営業務、水門設備管理運営業務、更衣室運営業務、造園・植物管理、スポーツ振興・自主・周辺連携事業・利用者サービス提供事業 等
実績 強み	<ul style="list-style-type: none"><li>・「2005 年世界ボート選手権大会」ほか多数競技大会を開催する国営の水上競技施設を 17 年以上管理運営</li><li>・全国 25箇所、年間 3 千万人以上のお客様を迎える公園・スポーツ・レジャー施設を 43 年以上管理運営</li><li>・『都市公園コンクール・管理運営部門』にて 3 年連続受賞（国土交通大臣賞(2回)、都市局長賞(1回)）</li><li>・“世界の絶景”と称されるネモフィラ花畠を創出する企画・マネジメント力（15 日間で 70 万人来園）</li></ul>
構成団体 A	株式会社 協栄
事業概要	建物総合管理、清掃・衛生管理、設備管理・整備、保安警備、受付・案内サービス
本業務の役割	艇庫管理運営業務、宿泊室管理運営業務 等
実績 強み	<ul style="list-style-type: none"><li>・埼玉県の漕艇場内設置の国立の N T C ボート競技力強化拠点施設・艇庫を 45 年以上管理運営</li><li>・国立・都立の競技場、国際基準のサッカースタジアム、ドーム球場等のスポーツ施設を管理運営</li><li>・国立・都立の美術館、劇場、大学、ホテルなど様々な施設を 45 年以上管理運営</li></ul>
構成団体 B	日建総業 株式会社
事業概要	建物総合管理、水環境保全、廃棄物処理、プラント管理、介護サービス、ホテル経営
本業務の役割	競技コース等管理運営業務、建物・施設・設備管理、警備業務、清掃業務 等
実績 強み	<ul style="list-style-type: none"><li>・都立の海上公園（15箇所）及び都市公園（8箇所）を管理運営（都立公園指定管理者第 1 号）</li><li>・新宿区立の都市公園を管理運営し、『都市公園コンクール・管理運営部門』にて国土交通大臣賞を受賞</li><li>・平昌パラリンピック日本代表チームのコーチが社員として在籍（障がい者競技団体出向中）</li></ul>
構成団体 C	野村不動産ライフ＆スポーツ 株式会社
事業概要	スポーツジムの経営・コンサルタント、スポーツ教室・スクール事業、公共プール管理運営
本業務の役割	トレーニングルーム運営業務、スポーツ振興・自主・周辺連携事業・利用者サービス提供事業 等
実績 強み	<ul style="list-style-type: none"><li>・全国 46 箇所、会員数約 14 万人、年間延べ約 1 千万人のお客様を迎える総合スポーツクラブを 30 年運営</li><li>・大手リサーチ会社の 2016 年度顧客満足度ランキング・フィットネススタッフサービス部門第 1 位を獲得</li><li>・障がい者スポーツを支援する企業として『東京都スポーツ推進企業』に認定</li></ul>
事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体

## 提案課題1〔管理運営の基本方針〕

### 〈東京都提示の12の基本方針を受けた実施方策〉

「業務内容及び管理運営の基準」(以下「管理運営基準」という。)に示された12の基本方針を実現するために、「競技利用」、「都民利用」、「周辺施設との連携」の3つの視点に留意し、当施設に関わるすべての人々に安全・快適を提供します。また、来場者35万人と大会・合宿誘致件数に加えて、独自に利用者満足度の数値目標を掲げ、成果の見える化を図ります。

#### ① 国内外の水上競技大会の開催 【成果目標】国際大会(年間4大会)と国内大会(年間26大会)の誘致

当共同企業体代表は、国営の国際レガッタコース(岐阜県)を開場準備から17年以上管理運営する団体です。これまで、日本ボート協会や日本カヌー連盟、日本トライアスロン連合などの水上競技団体との連携・協働により多くの競技大会を開催してきました。当施設においても、築き上げてきた信頼関係に基づき、必要な大会支援や誘致先についてアドバイスをいただきながら、効果的な誘致活動を展開します。[P6.にて詳述]

#### ② アスリートの強化、育成の場の提供 【成果目標】強化・育成合宿(年間51回)の誘致

大会誘致活動と同様、水上競技団体から全国の加盟団体、学校団体、社会人団体などの情報を入手し、当施設の利便性・機能性を示した「利用の手引き」を用いて、広域的な誘致活動を展開します。あわせて、団体同士の交流戦のマッチングや指導者を紹介する仕組みをつくり、地方と東京、人と人をつなぐ取組を強化します。

#### ③ 都民に水上スポーツ体験、水上レジャーの機会を提供

東京都スポーツ推進総合計画(都民のスポーツ実施率70%の達成)の政策指針に示されている「スポーツをする、みる、支える」を重視し、都民が気軽に水上スポーツに参加・体験できる機会を充実します。



する  
スポーツ

- 競技経験者の指導によるボート、カヌー、ドラゴンボートなどの体験プログラムを実施し、子どもから高齢者まで初めてでも参加できる内容とします。また、初級者、中級者へと成長プロセスにあわせた指導を行います。
- 特に当共同企業体の各構成団体は、様々ななかたちで障がい者スポーツを支援しており、障がいに応じた適切なサポートで安全・安心を確保します。

みる  
スポーツ

- トップアスリートの活躍を間近で観戦できることを、ホームページやSNSにて発信するほか、大会・イベント情報などをプレスリリースしていきます。
- 東京2020のメモリアル展示やローリングマシンの体験コーナー、クイズラリーなど、楽しみながら関心を深めていく仕掛けを行います。

支える  
スポーツ

- 水上競技経験者によるレクチャーや東京2020のガイド、東京港の自然・歴史・文化を伝えるガイド、福祉を学ぶ学生による障がい者向け体験プログラムのサポートなどボランティア活動を推進します。
- カヌ一体験と海面清掃などを組み合わせた、親子で参加できるボランティア型プログラムを実施します。

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

## 提案課題1 [ 管理運営の基本方針 ]

### ④ 海の森公園（仮称）との連携

- ・当共同企業体代表は、公園管理運営のプロフェッショナル集団として様々な協力が可能です。同じ東京都の施設として、サービスの共通化、災害に対する緊密な連携、イベントの共同開催、資機材の貸借など、**利用者の安全・快適の向上と業務効率化につながる取組**を提案します。
- ・カヌースロンなどの公園内の陸上競技と当施設での水上競技、宿泊利用を組み合わせた大会・イベントの実施など、共有・補完しあうことで**利便性や多目的性の高まる事業プラン**を提案します。
- ・公園との連携イベントとして、アウトドアスポーツ、環境学習とキャンプ、夜景とライトアップ、地域合同の水陸防災訓練など、**2つの施設の資源を掛け合わせることで価値が増大するイベント**を提案します。

### ⑤ 競技団体との連携

- ・当共同企業体代表は、様々な水上・陸上の競技団体との連携・協働の実績があります。東京2020ならびに後利用においても、**WIN-WINの関係を構築し、欠かすことのできないパートナー**として、大会・合宿の定期開催や競技普及、スポーツ振興事業など、アスリートと都民にとって有益な事業を展開します。[P6.にて詳述]
- ・日本ボート協会、日本カヌー連盟、日本ドラゴンボート協会、日本障害者カヌー協会より、当共同企業体との連携・協働による当施設の有効活用について前向きな回答をいただいている。

### ⑥ 施設のサービス・魅力向上 【成果目標】利用者アンケート調査（お客様満足度 80%以上）

- ・水上競技大会開催の多客日と、開催のない休日・平日に、**全ての利用者を対象としたアンケート調査**を実施します。当施設に対する印象や満足度、要望、利用者の属性などを聴取し、サービスの改善につなげます。
- ・利用者からの意見は、施設内の「ご意見箱」とホームページ「お客様の声サイト」により、いつでも聴取できるようにします。意見への対応は、**毎月の「満足度向上委員会」**にて検討し改善を図ります。なお、利用者の安全性や満足度の低下を招く事象については速やかに対応します。

### ⑦ スポーツ情報の発信

- ・「都民のスポーツ実施率70%の達成」につながる競技大会やイベントの情報、水上競技に関する情報、周辺施設のスポーツ・レジャー情報をホームページや施設内のインフォメーションボードにて提供します。
- ・「東京2020×東京1964」メモリアル展示や健康・運動に関するパネル展示、関連図書コーナーをはじめ、セルフガイドやボランティアガイド、**オリンピアンとの交流プログラム**など、体験型の情報提供も充実します。

### ⑧ 東京都の施策・事業及び東京2020大会への協力

- ・競技利用ならびに都民の健康・スポーツ利用はもちろんのこと、行政、団体、市民、大学、企業などとの連携・協働により、**観光振興、教育支援、環境保全、復興支援などの社会貢献事業**に取組みます。
- ・当共同企業体代表は、管理運営する国際レガッタコースにて開催された、**アジア初の国際ボート大会「2005年世界ボート選手権大会」**（来場者数：約12万人）に参画しています。この経験が当共同企業体の最大の強みであり、東京2020の計画、準備、本番、後利用の過程において柔軟な対応を約束できるエビデンスです。



事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

## 提案課題1〔管理運営の基本方針〕

### ⑨ 効果的かつ効率的な管理運営

- ・各構成団体の強みを発揮できるチームを編成し、**スタッフ一人ひとりが有機的に連携**することで、利用者ならびに東京都にとって効果的・効率的な管理運営を実施できる体制とします。また、培ってきた実績と協力企業のネットワークにより、**無理無駄のない収支計画とスタッフ配置計画**を設定します。
- ・施設設備管理においては、点検・修繕・更新の記録をデータ化し、**異常の発生周期を掴みながら予防保全**に努めていくことで、物的被害・費用的損害を最小限に止めます（アセットマネジメント推進）。ただし、競技コースや水門設備などの特殊施設の故障や災害時の復旧作業も想定し、**日頃から支出抑制と収入増に取組みます**。

### ⑩ 安全の確保

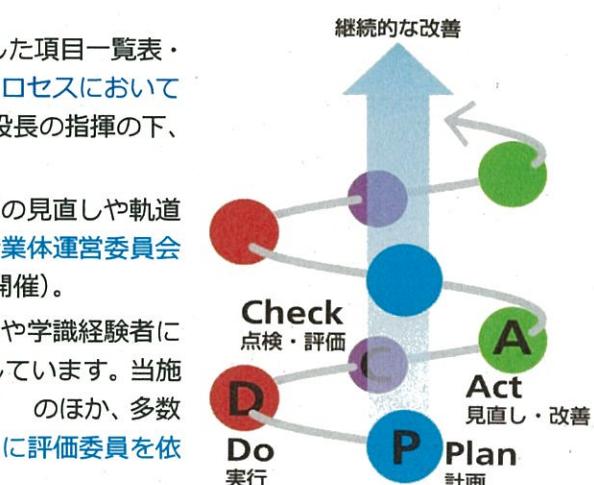
- ・**利用者の安全確保を最優先**することを、日々の朝礼・終礼やチームミーティング、毎月の「安全衛生委員会」にて指導するとともに、実践的かつ反復的な訓練・研修により、災害・事故への対応力を確かなものとします。
- ・当施設の特性を踏まえた上で、東京都の「防災ホームページ」の情報やハンドブック「東京防災」を活用しながら、**事故別・災害別に対応を示した「危機管理マニュアル」を作成**し、適切な初動を徹底します。
- ・東京2020に向けて海上保安庁の「海上・臨海部テロ対策協議会」や警視庁の「テロ対策パートナーシップ推進協議会」など、**官民連携のテロ対策**に従うとともに、混乱制御、雑踏誘導を含めた対策・対応を講じます。
- ・当共同企業体代表は、全国の管理運営施設において、震災対応（西方沖・中越・東日本・熊本）、 Dengue熱対応（新宿区）、セアカゴケグモなどの危険生物対応の経験を有しており、**様々な事態に速やかに対応**します。
- ・日常点検の項目統一と多重チェックをルール化し、危険事象の見落としを防止します。全国の事業所で発生した**事故・災害の情報を即時に受信する電子メールシステムを導入**し、当施設の未然防止策に活かします。

### ⑪ 都立体育施設としての役割

- ・当共同企業体スタッフはもちろんのこと、協力企業スタッフに対しても、公の施設として利用者・関係者への親切丁寧な対応、公平平等な対応、コンプライアンスの遵守を、**日常的かつ反復的に指導・教育**します。
- ・当施設利用者からの意見だけでなく、他の体育施設や新規恒久施設との情報交換を行い、利用者動向やニーズを共有します。これにより、多様化するニーズの把握や、少子高齢化、訪日外国人の増加などの社会的な課題への対応に連携して取組み、**都立体育施設全体のサービス底上げに貢献**します。
- ・都民の健康づくりを支援する施設として、**スタッフ一人ひとりのライフ・ワーク・バランスを大切にした職場づくり**とやりがい醸成、心と体の健康、労災防止に注力し、利用者サービスに集中できる環境を整えます。

### ⑫ P D C Aサイクルの構築

- ・業務責任者ならびに業務担当者は、事業計画の取組を示した項目一覧表・実施工程表により逐一進捗を管理します。P D C Aの各プロセスにおいて**自ら業務を点検・評価**し、すべてのスタッフで共有、施設長の指揮の下、**継続的な改善**を図ります。
- ・各本社の定期チェックとバックアップを受けながら、計画の見直しや軌道修正、改善措置などを適期に実施します。また、**当共同企業体運営委員会を組織**し確実な履行を徹底します（委員会は四半期毎に開催）。
- ・当共同企業体代表は、全国の管理運営業務において有識者や学識経験者による第三者モニタリング（自己点検評価委員会）を実施しています。当施設においては、**や**のほか、多数に評価委員を依頼し内諾をいただいている、**競技団体の役職に就かれている、頼し内諾をいただいている。**



事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

## 提案課題1〔管理運営の基本方針〕

### ○来場者目標達成に向けた考え方

#### <年間来場者35万人達成のための基本方針>

- ◇これまで述べてきた実施方策を着実に実行し、魅力あるスポーツ環境を提供することで、水上競技の大会・合宿利用・練習利用をはじめ、**多様な団体、都民の継続的な利用を確保します。**
- ◇日常的な健康・運動利用の促進と、非日常を楽しむ体験型イベント・プログラムの提供を取組の両輪とし、水上スポーツのみならず、**都民ならびにあらゆる人々がスポーツに参加できる機会を充実させます。**
- ◇当共同企業体は、スポーツはもちろんのこと、花の名所づくり、環境学習、ライトアップ、コンサートなどの多彩なイベントを全国で開催し、利用促進と地域活性に成果を上げてきました。このノウハウを活かし、水上スポーツとアウトドア、フード、音楽などを組み合わせた集客イベントを開催し、**レジャーの目的地となる“にぎわい”を創出**することで、全般的・広域的な利用を促進します。
- ◇『海の森エリア活性化プロジェクト』(仮称)を立ち上げ、当施設と海の森公園(仮称)を核として、東京ゲートブリッジや海上公園などをつないだ新たな魅力づくりに取組み、周遊利用と地域・観光の活性化に貢献していく、地域生まれのエリアマネジメントを推進します。
- ◇当共同企業体は、80施設以上のスポーツ・レジャー施設を首都圏で管理運営しており、リーフレット掲出やホームページリンク、団体顧客リストの活用など、**共同企業体ネットワークを活かした広報活動**を実施します。



#### <利用目的別の来場者目標>

2019年度より誘致・広報活動を開始し、東京2020で訴求力を高め、運営初年度に目標を達成

利用目的	利用者	2021年度	2022年度
①大会利用・観戦利用	水上競技大会(30大会)の選手・関係者・観戦者	260,000人	260,000人
②合宿利用・練習利用	水上競技の合宿利用(51回)・練習利用	50,000人	50,000人
③健康・運動利用	トレーニングルーム、ウォーキング等の個人利用	12,000人	12,000人
④レジャー利用	レクリエーション体験等の参加者	5,000人	5,000人
⑤スポーツイベント等	水上競技教室や健康プログラム等の参加利用	1,500人	1,500人
⑥にぎわいイベント等	体育の日・海の日等のイベント利用	20,000人	20,000人
⑦施設見学・団体利用等	学校の社会科見学、行政・団体視察、企業研修等	1,500人	1,500人
合計		350,000人	350,000人

#### <施設稼働率向上の取組>

##### 圏域都民(10km圏内)の利用誘致

- ・江東区、大田区及び周辺4区の都民(約270万人)のうち、30歳以上55歳未満が40%(約110万人)を占めています。体力気力共に充実した世代であり、週末を家族と一緒に健康的に過ごしたいという思いを持っていることから、親子、子育てファミリーが**安心して楽しめる体験型のイベント・プログラム**を企画します。
- ・同様に55歳以上は30%(約85万人)を占めています。余暇を健康的に過ごしたい世代であり、トレーニングルームをはじめ、ウォーキングやフィットネスなどの**個人で楽しめるセルフプログラム**を充実させます。
- ・高齢者向けの健康プログラムを平日に実施し、参加者同士の交流を誘引、グループ利用、サークル活動へと発展させることで、施設利用の促進につなげます。

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

## 提案課題1〔管理運営の基本方針〕

### 平日の団体利用の誘致

- ・東京都環境局埋立処分場、東京臨海風力発電所（東京風ぐるま）、東京ゲートブリッジなど東京港や都市環境を学ぶことのできる施設が隣接しており、当施設での施設見学と東京2020のガイドを加えた学校団体の社会科見学ルートを設定し誘致していきます。
- ・企業のチームビルディング研修、周辺施設で開催される集客イベントの関係者などを積極的に誘客し、平日の宿泊利用を確保します。

### ○大会開催目標等達成に向けた考え方

#### ＜国際・国内大会誘致年間30大会達成のための基本方針＞

- ◇全国のスポーツ・レジャー施設において、築き上げてきた水上競技団体との信頼関係に基づき、「生きた声」を聴取しながらセールスポイントを充実させていくことで効果的な誘致活動を実施します。
- ◇様々な水上競技大会の誘致にあたり、東京2020の躍動・感動を伝える広報ツールと、艇庫、宿泊施設、貸出物品などの利便性を示した「利用の手引き」を作成し、訪問営業による積極的な誘致活動を実施します。
- ◇世界水準の施設であることに加えて、素晴らしい景観や周辺の集客施設なども魅力的な要素であるため、参加者にとって貴重な経験、記憶に残る活動となることをアピールしていきます。
- ◇年間の大会実施計画においては、各競技団体とのスケジュール調整に時間を要することが予想されます。よって、日頃からのコミュニケーションを大切にし、競技団体を一堂に会した調整会議を設けるなど、競技団体同士の交流も深めながら、当施設を中心としたネットワークを構築していきます。
- ◇トップアスリートにとって最適な競技環境を維持するため、グループインタビューなどで得られた意見や要望を現場に反映させるなど、アスリートファーストを実践します。特に夏季の水上競技シーズンについては、休館日や早朝・日没前の時間に開放するなど、安全管理の徹底を図った上で柔軟に対応します。



#### ＜大会規模別の目標数＞

来園者目標と同様に、2019年度より誘致活動を実施し、運営初年度に目標を達成

大会規模 競技種目	2021年度				2022年度			
	1万人	5千人	3千人	1千人	1万人	5千人	3千人	1千人
①ボート	4	2	2	4	4	2	2	4
②カヌー	1	3	1		1	3	1	
③ドラゴンボート		1	2	1		1	2	1
④トライアスロン		1	3	1		1	3	1
⑤SUPなど			2	2			2	2
合計	5	7	10	8	5	7	10	8
	30大会				30大会			

【大会規模】1万人以上：国際、5千人以上：全日本・国体、3千人以上：学生・市民、1千人：ジュニア ※人数は観戦者を含む人数

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

(1) 休館日及び開場時間

<基本的な考え方>

当施設の休館日及び開場時間については、水上競技利用者の動向と施設の利用目的・機能を踏まえて以下のとおり提案します。赤字の部分が東京都体育施設条例施行規則から設定を変更する事項です。

①休館日

東京都体育施設条例施行規則に示されている休館日・施設等の整備日

種別	休館日	施設等の整備日
全 10 施設	12/29～12/31 1/1～1/3	1箇月につき5日 を越えない範囲において知事が指定

【全 10 施設】

競技コース、水門、会議室、ラウンジ、ドーピングコントロール室、食堂、艇庫、トレーニングルーム、更衣室、宿泊室

当共同企業体が提案する休館日・施設等の整備日

種別	休館日	施設等の整備日	設定変更の理由
全 10 施設	12/29～12/31 1/1～1/3	・12月の第1月 曜日から第1木曜日までの4日間 ・2月の第2月曜日から第2木曜日までの4日間	左記の日程を休館することで、電気設備点検や停電作業、害虫駆除、定期清掃をはじめとした業務を集中的に実施します。 12月：電気設備点検（停電）等 2月：各種点検に基づく修繕、害虫駆除等

②開場時間

東京都体育施設条例施行規則に示されている開場時間

種別	開場時間
9施設 (下記以外の施設)	午前9時から午後5時まで
宿泊室	午後4時から翌日午前10時まで

当共同企業体が提案する開場時間

種別	開場時間	設定変更の理由
5施設 (下記以外の施設)	午前9時から午後5時まで	—
競技コース	4～9月は午前7時から午後7時まで	水上競技利用者からの早朝と夕方の利用ニーズが高いことから、宿泊室利用者及び専用使用団体（大会、合宿）からの要望があった場合は、左記の時間を開場します。あわせて、食堂（朝夕食）、更衣室も開場します。
食堂	午前7時から午後10時まで	
艇庫	4～9月は午前7時から午後10時まで	
更衣室	午前7時から午後10時まで	
宿泊室	午後4時から翌日午前10時まで	

※本提案については、水上競技の大会や合宿、宿泊室の利用を条件としているため、東京都と協議します。

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

## (2) 利用の調整

### <基本的な考え方>

- ◇当施設の利用の調整業務は、「管理運営基準」の規定をすべてのスタッフが熟知した上で、これに準拠し、利用者ならびに利用希望者に公平・平等な対応を行います。
- ◇利用の受付に際しては、「東京都スポーツ施設予約システム」(以下「予約システム」という。)を使用し、適正な手続きを行います。また、すべてのスタッフが予約システムの仕組み、操作方法などを理解するために、運営期間前に講習会を実施し、習得します。
- ◇予約システムの導入・運用開始までは、電話や窓口にて対応していきますが、対応窓口を一本化し予約の重複を防止し、必要事項を記したチェックシートを用いて受付を行うことで利用者との行き違いを防ぐなど、トラブルの未然防止に万全を期します。

### <利用調整業務の流れ>

#### ①専用使用について

- ・**優先受付**は「使用月の属する年度の前年度の6月30日まで」となっているため、各競技団体との「スケジュール調整会議」(以下「調整会議」という。)を4月頃に実施し、各団体同士の調整の場として活用していきます。参加団体は、日本ボート協会、日本カヌー連盟、日本ドラゴンボート協会、日本トライアスロン連合、東京都教育委員会などを通じて全国に呼びかけていただきます。
- ・「調整会議」では、各団体の希望日を聴取し、希望日が重複した場合は、当事者同士での交渉を依頼します。
- ・大会等の計画書を速やかに提出してもらうため、**当競技場ルールの遵守や安全管理、緊急時の対応などの必要事項を示した見本を提供**し、スケジュールの確定を急ぎます。
- ・使用申請書の提出を受け、これを精査し、内容に問題がなければ仮承認を行います(～8月31日)。
- ・仮承認日から2週間以内に利用予納金(利用料金の10%)を納入いただき、確認後、速やかに使用承認書兼施設利用料金領収書を発行し、申請者へ通知します。
- ・**一般受付**は、10月1日より次年度4月の受付を開始するため、9月中に次年度の空き状況を公表します。申込方法は窓口又は予約システムとし、窓口での対応は混雑に備えて十分なスタッフ体制を整えます。
- ・申込日から1週間以内に利用予納金(利用料金の10%)を納入いただき、確認後、速やかに使用承認書兼施設利用料金領収書を発行し、申請者へ通知します。

#### ②個人使用について

- ・**個人使用**は、専用使用がなく使用が可能なときは、個人の利用を受け付けます。
- ・個人使用を促進するため、一般公開日の日程は十分な周知期間をとって公表します。
- ・使用基準は「管理運営基準」に示されている条件をクリアした方とします。
- ・施設の空き状況を予約システムのホームページにて常に公開します。当施設ホームページにリンクさせます。
- ・**予約からのフロー図やQ&Aをチラシやホームページにてわかりやすく解説**し、日常的な利用を促進します。

#### ●予約が重複した場合の対応

- ・日々の予約状況は受付者と異なる確認者がチェックした後、当日の責任者がチェックすることで、**トリプルチェック**を行います。仮に、窓口と予約システムの重複、窓口内の重複が生じた際は、その日のうちにミスを見し、正規職員が電話や訪問にて謝罪します。
- ・大会・合宿利用等の予約の重複の防止策は、申請日のうちにトリプルチェックを行うこととしますが、万が一発生した場合で、大きな損害を発生させてしまった場合は、**責任を持って賠償(準備費、代替費)**します。
- ・予約の重複や人為的なミスなどが発生した場合は、速やかに対応するとともに、東京都へ報告します。

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

(3) 利用料金

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

提案課題2-1(3)別表① 利用料金表

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

提案課題2-1(3) 別表② 利用料金表

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

## (1) 競技コース等運営業務

### <基本的な考え方>

◇当施設の競技コースは、国際基準である2,000mの競技コースを有する長大な水路に整備された空間であり、優れた競技環境である一方、事故の発生リスクの高い施設といえます。よって、ハード・ソフトの両面において、安全・快適が約束された施設とするとともに、東京2020のレガシーとして、また「水上競技の聖地」として、アスリートから都民まで広く親しまれる施設となるよう適切な管理を実施します。

#### ①施設の運営・安全管理

##### ●利用準備（初回利用）

- 施設の運営にあたっては、競技コースと艇庫、水門・揚排水ポンプに関する「水上競技施設管理マニュアル」を作成し、利用者対応から施設の維持管理まで、すべてのスタッフが統一の認識を以って業務にあたります。
- 利用者に対しては、利用ルールや安全管理、注意事項を記した「水上競技施設利用の手引き」及び「水上競技施設利用のルール」を作成し、**初めての利用者を対象に「初回講習」を実施**します。
- 水上競技団体などの専用使用団体であっても、責任者・指導者に対して「初回講習」を義務付けます。
- 初心者だけの個人使用は禁止します。個人使用グループの場合は、メンバーの中の初心者に対して十分な指導ができる競技経験者の有無を確認します。
- 中学生以下のグループは保護者の講習受講と利用誓約書の提出を義務付けます。
- 「水上競技コース利用のルール」は以下の項目について規則を定め、利用者の安全を確保していきます。具体的については、維持管理期間中に日本ボート協会や日本カヌー連盟の協力を得て定めます。

①競技コース利用日の受付手順

②競技コースの使用を中止する場合（気象状況、雨・風・高潮・雷などの注意報・警報発令状況、施設不良など）

※当共同企業体が管理運営する国営の国際レガッタコースは、警報発令、風速10m以上、河川水位の上昇（河口堰開門）の場合に使用を中止

③前日及び当日のキャンセルを可能とする気象予報などの条件

④競技コース使用時の緊急連絡手段の確保

⑤安全監視者・見守り者の配置

⑥ライフジャケットの着用

⑦航行ルール

⑧艇庫利用のルール（貸艇の手順、貸艇清掃、出入庫作業の安全管理など）



##### ●利用当日の対応

- 水上競技施設の安全を確認した上で、その日の競技利用を受け入れます。管理事務所にて受付後、気象予報や水位、利用予約状況を伝え、「航行ルール」、緊急時の連絡・初動について再度説明を行います。
- 利用の件数や利用規模、競技種目、利用者のレベルなども伝えることで、安全意識を高めていただきます。
- 初心者・初級者が多い時や競技利用と都民利用（子ども、高齢者、障がい者など）が交錯する時は、当施設スタッフによる安全監視及びポンツーンの整理誘導を行い、競技利用者には都民利用を優先していただきます。
- 気象庁発表の気象予報を注視し、雨雲・雷雲の接近や注意報・警報の発令状況などを現場、場内放送にてお知らせし、利用の中止及び注意を促します。
- 緊急時の動力船航行に際しては、競技コース利用者の安全を最優先し、競技コース施設との接触事故も防止します。また、ライフジャケットの着用や液体燃料の取扱いなど、法令、ルールを遵守します。

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

## 提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 2 施設の運営

### ②維持管理

- 競技コースの施設は、コースを明示するブイ、消波装置、ポンツーン、避難はしご、護岸など、**小さな異常が大きな水難事故**につながる恐れがあるため、常に正常な状態、安全な状態に維持する必要があります。異常の早期発見・早期対応を基本とし、日常の点検を欠かさずに実施し、当日の点検は、競技コース利用の開始時間前に実施します。
- 修繕を必要とする事象については、東京都と協議の上、対応方法や利用の可否を判断します。
- 海水・潮風・波浪・高潮などの環境条件が、施設の劣化の進行度、不具合・故障・破損の発生にどのように影響しているかを掴むため、記録写真や管理台帳への記録などを漏れなく実施します。

点検の種類	頻度	主な内容
巡回点検	毎日	水上競技施設の目視点検（水上施設は護岸より双眼鏡で確認）
日常点検	週1回	水上競技施設の目視点検、適宜触診（動力船による）
護岸点検	週1回	水路護岸の亀裂や破損などを目視にて点検（自転車による）
臨時点検	台風・高潮発生後	巡回点検または日常点検レベルの点検

- 各点検の結果を記録した報告書を作成します（適宜記録写真を撮影）。
- 修繕及び消耗品の交換などの実施記録を管理台帳に記録します。

### ③水上競技団体との利用調整

- 専用使用による大会利用や合宿・研修などの団体利用に際しては、事前に同日の個人利用やスポーツ振興事業による利用に対しての配慮と、参加者への周知を依頼します。また、専用使用の規模・人数が少ない場合は、個人使用の利用枠を可能な限り開放していただくよう依頼します。
- スポーツ振興事業や水上競技普及啓発に協力いただくことで、団体のイメージアップを図ることができます。
- 実施計画書には、「水上競技コース利用のルール」の遵守と緊急時の対応、災害時の対応、設営・競技・撤収時の**安全管理についての計画**を示していただきます。
- 特に安全利用を促進するため「航行ルール」について徹底を依頼します。以下は「航行ルール」（案）であり、**水上競技団体やアスリートの意見を取り入れ、維持管理期間中に完成させます。**

#### コース設定・航行ルール案

コース設定	①8レーンのうち4レーンで区分し、右側航行を厳守 ⇒ 正面衝突の防止 ②低速・準高速・高速レーンを設定 ⇒ 後方からの衝突を防止 ③コース両端に転回エリア、その手前に注意エリアを設定 ④転回エリアに隣接して停止・休憩エリアを設定する ⑤色や大きさを工夫し、目立つ看板やブイを設置する ⑥カヌーなどボート以外の艇の航行レーンを指定する
ルール	・原則としてコース途中での転回は禁止 ・転回エリアでは全艇徐行とし、注意エリアからは十分減速して進入する ・高速レーンは途中停止禁止、後続に追いつかれた場合はコースを譲る ・準高速レーンは後続がない場合に限り、スタート練習のための一時停止が可能 ・回漕レーン（コースレーン外）は長時間の停止が可能 ・2艇以上の並走、競走については先行する艇がない場合に限る など

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

## (2) 水門・揚排水ポンプ運営業務

### <基本的な考え方>

◇当施設の水門・揚排水ポンプ設備は、通常時の開門状態から、水門を閉門することによって水上競技コースを静水の状態にし、ポンプ稼働により一定の水位を保つことで、競技に最適な環境をつくり出す施設です。また、海水の入れ替えにより水質を改善するほか、気象の影響による状況変化に対して、適正な水位に調整させる機能を持っています。よって、国際水準の競技環境を維持するために、きめ細やかな点検と適期の操作、保守管理、安全管理を徹底します。

### ①施設の運営

- ・競技コース利用のスケジュールを把握し、日々、水位・水質を確認することで、最適な競技環境を維持するための措置を講じます。
- ・水門の閉門、揚排水ポンプの稼動にあたっては、利用を予定する団体の水位・水質に対する意向・要望に沿ったコース状態を維持します。また、気象の影響などにより臨機の措置を要する場合は、東京都の承諾を得た上で実施します。
- ・競技コースの利用が高潮・風雨などで困難な場合は、利用予定者に対して十分な説明を行い、了承を得ます。
- ・水門の開閉と揚排水ポンプの運転は、大会開催前後と定期運転時とします。
- ・水門・揚排水業務責任者は業務を統括・監督し、作業は専門技術者によるものとします。
  - ①監視室に作業責任者を配置し、操作指示、中止判断など、指揮命令系統を明確にした上で作業を実施します。
  - ②運転技術者は、水門開閉操作や揚排水ポンプ稼動を行い、動作状況（動作表示ランプ）・制御盤警報・電流値を監視します。
  - ③安全技術者は、水門廻りにて開閉動作、異常、異音、振動などの異変を確認するとともに、船舶や第三者の接近に対して警告を行います。
- ・運転作業日の日報及び各点検報告書を作成します（適宜記録写真を撮影）。
- ・修繕及び消耗品の交換などの実施報告書を作成し、管理台帳に記録します。

### ②安全管理

- ・水門及び揚排水ポンプの異常の早期発見・早期対応を基本とし、毎日の巡回点検を欠かすことなく実施します。
- ・水門の開閉動作及び揚排水ポンプ運転時は、水陸からの第三者の進入を防止するため適切な安全措置を講じます。常に信号灯、通告警告板、スピーカーなどの保安設備を正常な状態に維持します。
- ・台風・大雨などにより高潮警報の発生が予想される時ならびに警戒態勢時は、必要に応じて24時間体制で管理し、速やかに水門開閉・排水ポンプの操作を実施できる体制を執ります。また、護岸・構造物・競技コース施設の状態に注視します。
- ・日々、気象庁の高潮関連情報、潮位観測情報、警報・注意報の情報を逐一確認し、すべてのスタッフに共有することで、巡回点検や利用者の安全確保に活かします。

### ③専門技術者による点検

点検の種類	頻度	主な内容
巡回点検	毎日	東水門・揚水ポンプ・西水門・排水ポンプの目視点検
日常点検	週1回	東水門・揚水ポンプ・西水門・排水ポンプ、制御盤・分電盤、監視室の点検
定期点検	月1回	日常点検では実施しないオイル点検、開閉装置点検、ワイヤー点検等と監視室点検
定期運転	月1回	水門開閉動作確認、門扉清掃、揚排水ポンプ稼動確認、監視室機器の動作・表示確認
臨時点検	適時	台風や高潮などの災害発生後に実施する日常点検レベルの点検

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

### (3) 船庫運営業務

#### <基本的な考え方>

- ◇当施設の船庫は、個人所有の艇と貸出用の東京都所有の艇を保管する場所であり、日々、第三者による危害、破損、盗難などが発生しないよう、責任を持って管理します。
- ◇利用者や作業者による不測の事故を防止するため、利用者のルールとスタッフのルールを定め、船庫内にわかりやすく表示するなど、安全管理・防犯管理の意識を徹底します。

#### ①施設の運営

- ・毎日、船庫及び艇の状態を点検します。異常を発見した場合は速やかに船庫業務責任者または施設長に報告し、対応します。
- ・**毎日、整理整頓**を行い、人と艇の十分な通行路を確保します。
- ・利用者以外の無断立ち入りを防止します。見学希望者には艇をはじめ備品に不用意に触れないことを指導します。
- ・艇の上げ下ろしの際は、艇種、収納ラックの高さにあわせた人数（2人以上）で実施するよう指導します。
- ・貸出艇と個人所有艇の収納場所は、ゾーンを区別して保管し、不測の事故やトラブルを防止します。
- ・競技大会や合宿利用、貸出艇を使用するイベントにより利用が集中する場合は、**船庫スタッフだけでなく他のスタッフも動員して対応します**。また、必要に応じて開場時間を早めて安全利用を確保します。
- ・貸出艇利用者の主なルール

船庫スタッフに声をかけてから始めてください。

指定の艇を使用してください。その他の艇には触れないでください。

艇の持ち方、運び方は、船庫スタッフの指示に従ってください。

ライフジャケットは体にあったサイズを着用してください。

オール、パドルの先端に注意してください。（人・物の事故防止）

壊れたとき、異常を感じたときはスタッフにお伝えください。

使用後の清掃をお願いします。



#### ②貸出艇の点検

- ・貸出艇は、艇体の破損・亀裂、リガーナーの曲折、ラダー・シートの可動確認、ボルト・ナット・ネジの増し締めなど、週1回以上の日常点検と**貸出前点検**、**貸出後点検**を実施します。
- ・造船所などの専門技術者による定期点検（年1回）を実施します。

#### ③利用者の事故防止策

- ・収納ラック・バーによる頭部打撲を防止するため、注意喚起表示やクッションカバーの設置を行います。
- ・段差による転倒を防止するため、注意喚起テープや簡易なスロープを設置します。
- ・濡れた床面での転倒防止のため、こまめに水切りやモップ掛けを行うほか、必要な箇所に滑り止めテープを貼り付けます。
- ・艇や資機材の運搬時の腰痛発症を防止するため、リヤカーや運搬台車の利用を促します。
- ・オールやパドル、資機材の立てかけ防止、不安定な収納を防止します。

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

#### (4) トレーニングルーム運営業務

##### <基本的な考え方>

◇トレーニングルームの運営にあたっては、世代や嗜好にかかわらず誰でもトレーニングに取組むことのできる安全・安心な環境づくりと、初心者、運動継続者、アスリートなど、運動取組レベルに応じた場を提供します。



##### ①安全・安心・快適な空間づくりへの取組

- ・施設利用開始前、終了後のマシンチェックときめ細やかな清掃を行います。
- ・全トレーニングマシンの点検と、施設不備、体調不良者の確認、アメニティチェックを行います。
- ・**AED 機器の動作チェック**を行います。
- ・救急対応などを明確にした「**トレーニングルーム運営マニュアル**」を作成し、定期的に内容を見直します。
- ・スタッフの勤務シフト交代に伴う引継事項の申し送りを徹底します。
- ・業務実施状況について、構成団体C本社の所管部門による毎月のチェックと、監査部門による所管部門へのチェックを行います。
- ・初心者講習会、フリーウェイト講習会を実施します。



##### ②トレーニングルームのマシン配置 ※東京都に提案します。

- ・最新・人気のマシンを提案するとともに、安全を考慮して余裕を持ったゾーニングが可能な配置とします。
- ・初心者からアスリートまで幅広い運動嗜好に合わせた機器の選定とゾーニングを提案します。具体的には、初心者対応が主となるマシンと、アスリート向けのフリーウェイト、及びコンディショニングゾーンを配置し、ニーズにあわせてボート競技者特有のマシン設置も提案します。
- ・事故の起こりやすいフリーウェイトエリアは、可能な限り死角をなくした配置とします。

##### ③人材配置

- ・トレーニングルームの業務責任者には、**保健体育の教員普通免許またはトレーニング関係の公的資格**を有し、構成団体C直営スポーツクラブでの現場経験5年以上の経験豊富で信頼できる社員を選定し、利用者にとって円滑かつ安全管理に万全の体制を構築します。
- ・「障がい者スポーツ指導員養成講習会」の受講を義務付けるとともに、配属は社内ライセンスにおいて優秀な成績を修めた人材とし、安全管理と運動指導において確かな実績を持った人材を配置します。

##### [構成団体C・社内ライセンス制度]

- ・公的資格の取得を推奨するとともに、当団体独自の社内ライセンス制度を設けています。
- ・このライセンスは、フロント/店舗経理を担うサービス部門、マシンジムの運営管理を行うフィットネス部門、プール運営管理のスイミング部門、テニス運営管理のテニス部門の4部門ごとに、5段階のグレードを設け、各部門の業務的なスキルだけでなく、接客、運動理論等も含めて、実技/筆記/面談を通して認定されるもので、職制にも紐づくものです。
- ・特に現場経験を重視し、試験には社内上位グレード取得者が当たり、試験結果に関わらず、後日フィードバックを行うことで、スキルの底上げに繋がり、同時に担当した講師の新たな気付きも生まれることから、当団体の品質確保、ブランド力の向上となっている制度です。
- ・この社内ライセンス制度を通じた品質管理が、**大手リサーチ会社の2016年度顧客満足度ランキング・フィットネススタッフサービス部門第1位の評価**をいただいた大きな要因になっています。

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

## 提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 2 施設の運営

### ④人材育成・スタッフ研修

- 構成団体Cは、利用者の前では職制に拘らず、すべてのスタッフが最高の接客や指導をすべきであるとの考え方のもと、入社時研修をアルバイト、社員など職制を問わず実施し、全員が同じ研修を受講します。さらに研修終了時には卒業試験を実施し合格者にライセンスの認定を与え、職制に係らず**すべてのスタッフがプロフェッショナルを目指す育成環境**を整備してます。
- 上記考え方のもと、全員が受講する「共通研修」と、スタッフ個々の知識と技術を伸ばす「専門研修」とに分けた、体系的なスタッフ研修体制を整備し、**スタッフ一人ひとりがスポーツパーソン**としての高い倫理観と責任感を持った管理運営を行います。
- 質の高い運営を持続させるために、実績豊かな「人財」を確保・配置するだけでなく、体系化した研修制度に則ったスタッフ研修を継続的に行います。

### ⑤利用促進とスポーツ実施率向上への取組

- 初心者を対象とした初回オリエンテーションを実施し、安全に施設を利用していただくとともに、効果的な運動方法、メニューを提供します。
- 初回だけでなく、運動を続けていく中で変化した身体、嗜好に応じたメニューを作成し、飽きさせない継続できるプログラムを提供します。
- 人的なメニュー作成だけでなく、トレーニング方法、種類について SNS を活用した動画配信を用意するとともに、館内掲示を行い、継続に向けた補助機能を提供します。
- トレーニングルーム利用者に、スポーツ振興事業などの定期的な教室、イベントへの参加を促し、新たな交流を積極的に作っていきます。
- 競技を行うアスリートに対しては、フィジカル強化だけでなく、**コンディショニングに関するメニュー**も提供し、定期的な利用につなげ、パフォーマンス向上に貢献します。
- 上記施策の元となるのは、**スタッフによる積極的な声掛け**で、安全管理を疎かにすることなく、意識的に多彩な接点を創るよう心掛けた運営を行います。

## (5) 更衣室運営業務・宿泊室運営業務

### <基本的な考え方>

更衣室と宿泊室の運営にあたっては、公共の施設であることを十分認識し、日常的・定期的に必要な保守・点検を行い、安全・快適・清潔な施設環境を維持します。また、利用者満足度の高いサービスを提供することで、スポーツ・レジャーの活動が有意義かつ思い出深いものとなるよう努めます。

### ●施設の管理運営

- 更衣室及び宿泊室は、**室内やリネンの汚損が頻繁に発生する施設**であると認識しており、満足度の低下、苦情の原因となり、利用者に不快な思いをさせるだけでなく、当施設の悪い評判につながります。よって、きめ細やかな清掃により、水浸し状態や毛髪の目立つシャワールーム・洗面台、シミや汚れの目立つベッドルームなどは、常に清潔な状態を保ちます。
- 女性が使用する部屋への入室は、女性スタッフを基本とし、やむを得ず男性スタッフが入室する場合は、声掛けやタイミングを変えるなどの配慮をします。
- 盗難・盗撮などの犯罪・トラブルを防止**するため、頻繁に巡回を行うとともに、声掛けを行います。また、忘れ物の防止についても注意喚起を行います。
- 災害発生時は「危機管理マニュアル」に基づく間違いない初動対応を行います。特に夜間の宿泊室対応スタッフは、**災害発生時のシミュレーションを日課**とし、施設長や業務責任者など緊急参集者の到着まで、混乱制御、避難誘導に万全を期します。

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

## (1) 施設内サービスに関する業務

### <基本的な考え方>

- ◇私たちは、当施設が公の施設であることを踏まえ、「公共サービス基本法」に則り、利用者の立場に立ち、責任を自覚し、**誇りとおもてなしの心をもって誠実にサービスを提供**します。
- ◇利用者の声は、「ご意見箱」や「お客様の声サイト」、「アンケート調査」などにより、効果的に収集し、対策や分析結果を迅速に公表します。
- ◇**利用者からの苦情は、正規職員が対応**することをルールとし、責任の所在を明確にした体制をとります。

### <具体的な実施内容>

#### ①適切な案内を可能とするスタッフの配置

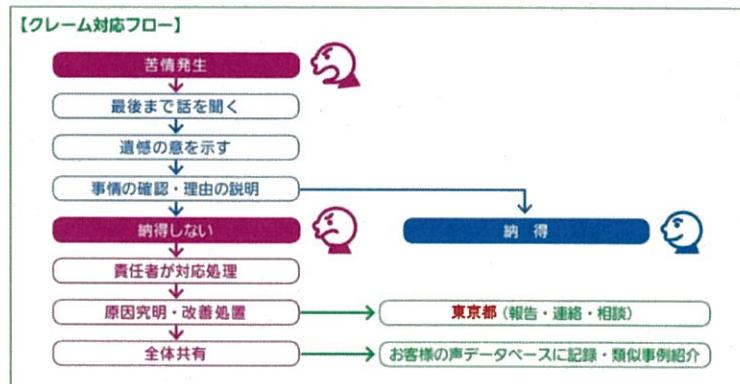
- ・当施設は利用料金を徴収する施設においては、予約方法や利用ルール、キャンセル方法など、利用者と行き違いが生じる可能性があるため、「案内マニュアル」や「よくあるQ&A」を作成のうえ、「基礎研修」を修了したスタッフが、適切な案内を行います。
- ・独自のサービスマニュアル「スタッフマナーブック」により、基本的な接遇スキルに加え、クレームの対応方法を習得します。なお、**すべてのスタッフが「サービス接遇検定」(2級または3級)を取得**します。

#### ②ニーズを把握し、業務に反映させる方策

- ・館内各所に「ご意見箱」を設置し、毎日回収することで、速やかな対応・改善に努めます。
- ・利用実態を把握するため、満足度、性別や年齢、住居地、来園目的、交通手段などについてアンケートを実施します。実施日は、水上競技大会開催の多客日と開催のない休日、平日とし、比較できるようにします。
- ・電話や窓口、清掃などの作業時に口頭で直接寄せられたご意見は、「業務日誌」に記録し共有を図ります。また、**苦情や緊急を要する事案は、正規職員が対応**を引き継ぎます。
- ・当施設のホームページに「お客様の声サイト」を設けるほか、SNSによる書き込みなどITを活用し、来園前後にも収集します。回答を求められている場合は、東京都に確認の上、速やかに回答します。
- ・寄せられたご意見は、当共同企業体代表が全国の管理運営施設で運用する「お客様の声データベース」に、日付や内容、評価(プラス・マイナス)、対応状況を登録するとともに、類似事例の照会や情報共有を図ります。
- ・ご意見は、緊急度や重要度に応じて個別に対応するほか、「満足度向上委員会」で対策を検討します。その結果は、**東京都に承諾を得た上でホームページや掲示板にて公開**します。
- ・指定管理者の業務範囲で対応困難な案件は、発生日や状況、内容から、対応案を踏まえて、速やかに東京都に報告します。

#### ③苦情への真摯な対応

- ・利用者からの苦情は、当施設に対する期待・願望が満たされなかつたときや、裏切られたと感じたときに噴出する“シグナル”と考えています。そのため発生した苦情は、単なる処理だけに留めず、今後の**満足度向上の大切なヒント**として扱います。
- ・なお発生した苦情は、責任者が苦情発生から対応処理に至るまでの流れを整理するとともに、今後にむけた改善案をすべてのスタッフに共有します。



事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

## 提案課題2 [ 施設の提供、運営に関する業務 ] 3 施設内サービス及び東京2020大会のメモリアルの展示

- ・苦情発生時は、正確な情報の把握を行うとともに、状況や段階に応じ担当者と責任者で連携をとった解決を図ります。
- ・利用者が納得しない場合など対応の最終段階においては、**施設長・施設長補佐などが事態の収束**に至るまで、誠意を持って対応します。
- ・対応内容は、苦情の原因究明・改善処置を含め、速やかに東京都に報告するとともに、指定管理者として対応が難しい案件については、全国の事例などを踏まえた提案を沿えて、連絡・協議します。

### ④多様なお客様が快適に利用できる環境づくり

- ・国内で約15万人が公共施設などで活動する「**サービス介助士**」の有資格者を配置し、高齢者や障がい者の利用をサポートします。
- ・外国人利用に対しては、ホームページやリーフレット、表示物の多言語化に加え、多言語翻訳アプリケーションを活用するなど対応を強化します。
- ・視覚障がい者（点字、白抜き文字）、外国人（多言語、ピクトサイン）と指で会話ができる**コミュニケーションボード**を数種配備します。
- ・車いすとベビーカーの貸し出しを行います。



視覚障がい者のための  
コミュニケーションボード

### ⑤利用者の目線で改善する「ユニバーサルデザインチェック」の実施

- ・当共同体代表は、管理運営する国営公園において、障がいのある子どもたちの野外活動や障がい者スポーツを支援するNPO法人と芸術大学との協働により、障がい者とその介添え者、ユニバーサルデザインを学ぶ学生（教授）の視点で**多角的に施設を点検・評価する「ユニバーサルデザインチェック**を行っています。
- ・当施設においても障がい者競技団体などとの協働により、このチェックを実施し、ハード・ソフト両面で改善していきます。また、大規模な改修を要する事案については、東京都に提案します。

#### ユニバーサルデザインチェックの成果事例

チェックポイント	想定される不具合と	改善策
園路	目線の高さに樹木の枝がかかっている	→支障となっている枝の除去（剪定）
排水溝の蓋	蓋の溝に杖や車いすの車輪が挟まってしまう	→横断箇所にカバー設置
未舗装園路	車いす歩行やベビーカーで走行しづらい	→未舗装であることを伝えるサイン設置
多目的トイレ	車いすの目線に鏡が設置されていない	→鏡を設置
建物	扉が観音開きのため、車いすで開閉しにくい	→スライド式の扉に変更



事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

## (2) 東京2020大会のメモリアルの展示に関する業務

### <基本的な考え方>

- ◇東京2020の感動とかけがえのない記憶を次世代に継承するため、「スポーツを、する人・みる人・支える人」に加え「知る人」の機会となるよう、当施設で実施された競技に関する物品や資料を展示します。
- ◇展示物の収集にあたっては、東京都をはじめ、(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(以下、「組織委員会」という。)、日本ボート協会、日本カヌー連盟より、提供を受けます。
- ◇展示にあたっては、「2005年世界ボート選手権」での実績と、国営公園内の文化施設や歴史施設での企画展示などの実績を活かし、利用の動線等を考慮した質の高い展示を実施します。

### <具体的な実施内容>

#### ①写真展示

- ・組織委員会をはじめ、各競技団体から提供を受けた記録画像や動画を展示、放映し、臨場感ある大会の様子を紹介します。
- ・大会スタッフや観戦者、仮設物など、競技に関わるあらゆる要素の画像を撮影し、記録に残すとともに、「支える人」や「支えるもの」の紹介をします。
- ・当施設の紹介コーナーを設け、当施設の建設前から工事期間、完成後の写真を借用し、施設整備の経過を紹介するパネル展示を行います。
- ・「東京2020×東京1964」と題して、東京1964に関する写真や資料を借用し、東京の今と昔、発展の歴史を感じてもらえる展示を行います。(構成団体Aが管理運営する埼玉県内漕艇場の協力を依頼)

#### ②実物展示

- ・競技に使用されたボートやカヌー(同型種)に加え、オールやパドル、ユニフォームなど、競技用具一式を展示します。競技用具は常に最新技術が反映されるため、東京2020で導入された技術の解説を添えることにより、将来的に開発される技術と現時点の技術を比較できるようにします。
- ・東京都と組織委員会と協議のうえ、大会時に使用されたフラッグやバナー、看板、表彰台などを譲り受け、展示会場の装飾に活用します。
- ・大会で配布されたオフィシャルガイドブックやパンフレット、チラシ、ポスターなどの印刷物を展示します。

#### ③イベント・プログラムなど

- ・「体育の日」などにオリンピアンとの交流イベントや大会関係者によるガイドを実施し、展示物の解説や大会時の様子などを紹介するほか、質問の受け答えなど、コミュニケーションを図る機会を設けます。
- ・カヌースラロームセンターと東京アクアティクスセンターなどのメモリアル展示会場と連携し、各施設との相互利用や他競技への理解を深めるガイドマップを制作します。
- ・東京2020の競技中の写真を拡大した顔出しパネルを設置し、SNSにも活かせる記念撮影スポットとして、思い出づくりの機会を設けます。

#### ④スポーツ関連資料の提供

- ・ボートやカヌーに関連する国内外の書籍や雑誌に加え、ルールブックや大会要項などを収集し、自由に閲覧できるようスペースを設けます。
- ・幅広い利用を図るため、ボートやカヌーを題材にしたマンガや小説、絵本、映画などを収集します。
- ・利用者からの専門的な問合せや質問については、各種競技団体と連携を図り回答します。また、収集した資料やよくある質問については、ホームページに掲載します。

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

### 提案課題3〔スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務〕1 事業の提供

#### (1) スポーツ振興事業

##### <基本的な考え方>

- ◇ 東京都スポーツ推進総合計画の目標である「スポーツの力で都民のスポーツ実施率 70%を達成し、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも」の実現のため、子どもから高齢者、障がい者までが気軽に楽しめる、**スポーツ実施率向上と心と体の健康に貢献する事業**に取組みます。
- ◇ 東京2020において、都民・国民のスポーツへの関心は最大となり、当施設の認知度ならびに後利用への期待も高まることが予想できます。東京2020を応援していた人、感動をもらった人から、**スポーツをする人、みる人、支える人に変わる“きっかけ”**となる、魅力的なスポーツ体験プログラムを提供します。
- ◇ スポーツ体験プログラムは、世代、地域、社会のニーズを掴んだものとし、指導者は競技経験者や指導資格保有者を招請することで、**参加する人にも見守る人にも安心・信頼できるサポート**を提供します。

##### <主なスポーツ体験プログラム>

実施事業	コンテンツ例
水上競技の体験教室	ボート、カヌー、ドラゴンボート、SUP
子ども体育教室	室内（マット、跳び箱、鉄棒）、屋外（かけっこ、体操）
フィットネス・トレーニングプログラム	ウォーキング、ストレージョギング、ヨガ、ダンス、エアロビクス、太極拳
レクリエーションプログラム	誰でもできるニュースポーツ（ボッチャ、フライングディスク、輪投げなど）

##### <スポーツ体験プログラムにおける利用者別・世代別のポイント>

###### ①幼児・子ども

- ・成長に合わせて、レベルアップできるプログラムとします（初心者・初級者・中級者）。
- ・スポーツだけでなく、自然・環境・多世代との交流により、**社会を学び、人間性を育む場**とします。
- ・都会でありながら、気軽・手軽に水上スポーツが体験できる貴重な場とします。
- ・保護者が安心して参加させることができる安全管理を徹底します。
- ・子どもたちに**未来のメダリストの夢**を抱かせるプログラムとして「志教育」を推進します。

###### ②女性

- ・体だけでなく**心もリフレッシュできる体験プログラム**を提供します。
- ・高品質なフィットネスプログラムを廉価で提供し、先進フィットネスから定番フィットネスまで幅広くラインアップします。
- ・1人でも参加しやすい女性限定のプログラムを設けるなど、働く女性から主婦、子育て世代（子どもと一緒に参加）、高年齢者など、平日・休日のニーズにあわせたプログラムのスケジュールを組みます。

###### ③働き世代

- ・子どもや家族とのコミュニケーションを深めていく機会を提供し、幸せの源である**家族の心と体の健康**が保たれた生活に貢献します。
- ・友人や職場仲間とのチームワークで楽しむボートや、1人の時間を自由に楽しむカヌーなど、気力と体力の維持、ストレスの発散に効果をもたらすプログラムを提供します。
- ・半日で体験できるプログラムを設定し、周辺施設の情報を提供するなど、充実した休日にしていただきます。

###### ④高齢者

- ・トレーニングルームのリピーターなど、**1人でも継続して参加できるプログラム**を提供します。
- ・体の健康増進効果だけでなく、いきがいややりがい、心の健康につながるプログラムを提供します。
- ・体験プログラムを通じて**指導員や参加者同士との交流**を生み出し、コミュニティ形成に寄与します。

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

### 提案課題3〔スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務〕1 事業の提供

#### ⑤障がい者

- ・野外活動の楽しさを満喫してもらえるよう、**障がいの程度にあわせた最良のサポート**を提供します。
- ・いきがいややりがいの醸成、障がい者アスリートを目指す“きっかけ”づくりを目指します。
- ・心の健康につながる健常者との交流、多世代との交流を促進します。
- ・介添え者や障がい者福祉団体にとって利便性・安全性の高いサポートを充実します。

カヌー体験を例とした対策

下肢障害	背もたれにクッションマットを敷いて安定させる
上腕障害	テープにてパドルを固定、またはレスキューロープで牽引する
スポーツ用車いす	ポンチョタイプのレインコートの貸し出し
言語障害、視覚障害など	コミュニケーションボード (指差し会話、点字、ピクトサイン、外国語併記)
	ポンツーン付近まで送迎車両の乗り入れ（安全誘導）

#### ⑥指導員

- ・水上競技団体との連携・協働により、指導者・審判員の養成や水上競技関係者の教育・研修を実施します。
- ・指導員・関係者のスキルアップや競技力の向上、**参加者同士の交流によりネットワークが強化**されます。
- ・水上スポーツ体験プログラムに指導員として参加する事で、実践的な訓練に活かします。

### <社会的背景と効果>

対象	社会的背景と効果
子ども	<p>基礎的な体力・運動能力の低下を受けて、文部科学省は身近なスポーツ活動の場の確保に取り組んでいる。 ⇒当施設の体験プログラムの活用を学校団体等へPR</p> <p>文部科学省は「子どもが道徳観・正義感を身につけるには、野外で自由に遊ぶ機会を持ち、<b>達成感や感動する体験を豊富に持つ事が緊急の課題</b>」としている。 ⇒当施設の体験プログラムの活用を学校団体等へPR</p> <p>大会観戦も含め、次世代のトップアスリートを目指す“きっかけ”となり、競技人口の増加、アスリート育成、競技力向上につながる。</p>
女性	<p>女性が働きやすい環境づくりが進められ、余暇の時間を有意義に使いたいというニーズが高まっている。 ⇒職場・家庭・子育てなどで活躍する女性にとって、心身のリフレッシュやコンディション維持に有効なプログラムを提供。</p>
働き世代	<p>要介護となるリスクの高い「口コモティブシンドローム（運動器症候群）」の人口は、予備軍を含め全国で4700万人（40歳以上の40%）と推定されている。健康運動活動は障害発生率の低減と年間5千億円以上の医療費削減効果があるといわれている。（厚生労働省発表） ⇒当施設の体験プログラムにより予防・医療費削減に貢献。</p>
高齢者	<p>超高齢社会を迎え、無縁社会・人間関係の希薄化が進行し、災害時の対応や孤独死などが社会問題となっている。 ⇒体験プログラムへの参加をきっかけに、新たな人間関係の構築に寄与し、「絆」、「つながり」を大切にした社会の実現に貢献。</p>
障がい者	障がい者がスポーツに参加する“きっかけ”となり、競技人口が増えることで、社会への理解促進・普及啓発に貢献。
指導者	<p>水上スポーツの指導員は、競技だけでなく趣味として楽しむ人々にとって欠くことのできない存在となっている。 ⇒指導員養成の場として定着し、指導員による水上スポーツの技術伝達、安全に対する意識啓蒙を行い、安全に楽しめる水上スポーツを体験できる機会の創出、普及啓発に貢献。</p>

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

## 提案課題3-1（1）別表 スポーツ振興事業の事業実施計画（平成33～34年度（2021～2022年度））

## ◆ 内 容

(2021・2022年度)  
単位：千円

No.	事業名及び内容	対象者	時期 回数	1事業当たり		収支計画		
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費
1	【水上競技の体験教室】 ◆はじめてのボート体験教室（初心者向け） ◇目的：ボートに乗ってみたいと思われる方が、気軽に参加できる初心者向け体験教室を開催し、当施設のリビーター利用及び競技の普及につなげる。 ◇内容：インストラクター指導の下、安全・安心に配慮した初めての方対象の体験教室を開催。	子ども 障がい者	14	168		支出合計	講師費用	材料費 その他※
2	【水上競技の体験教室】 ◆レベルアップボート体験教室（初級・中級者向け） ◇目的：乗られたことのある方を対象に、競技継続や大会などへの参加へ興味を持つていただくことで、競技の普及を図り、当施設のリビーターへつなげる。 ◇内容：初心者向けに参加された方及び経験者向けの体験教室を開催。	子ども 障がい者	12	144		支出合計	講師費用	材料費 その他※
3	【水上競技の体験教室】 ◆はじめてのカヌー体験教室（初心者向け） ◇目的：カヌーに乗ってみたいと思われる方が、気軽に参加できる初心者向け体験教室を開催し、当施設のリビーター利用及び競技の普及につなげる。 ◇内容：インストラクター指導の下、安全・安心に配慮した初めての方対象の体験教室を開催。	子ども 障がい者	14	168		支出合計	講師費用	材料費 その他※
4	【水上競技の体験教室】 ◆レベルアップカヌー体験教室（初級・中級者向け） ◇目的：乗られたことのある方を対象に、競技継続や大会などへの参加へ興味を持つていただくことで、競技の普及を図り、当施設のリビーターへつなげる。 ◇内容：初心者向けに参加された方及び経験者向けの体験教室を開催。	子ども 障がい者	12	144		支出合計	講師費用	材料費 その他※
5	【水上競技の体験教室】 ◆はじめてのボート・カヌー体験教室（初心者向け：大人対象） ◇目的：カヌーに乗ってみたいと思われる方が、気軽に参加できる初心者向け体験教室を開催し、当施設のリビーター利用及び競技の普及につなげる。 ◇内容：インストラクター指導の下、安全・安心に配慮した初めての方対象の体験教室を開催。	働き世代 女性	12	168		支出合計	講師費用	材料費 その他※
6	【水上競技の体験教室】 ◆はじめてのドラゴンボート体験教室（初心者向け） ◇目的：ドラゴンボートに乗ってみたいと思われる方が、気軽に参加できる初心者向け体験教室を開催し、当施設のリビーター利用及び競技の普及につなげる。 ◇内容：はじめての方を対象に乗船練習教室を開催。	子ども 働き世代 女性 障害者	8	400		支出合計	講師費用	材料費 その他※

## 提案課題3-1（1）別表 スポーツ振興事業の事業実施計画〔平成33～34年度（2021～2022年度）〕

## ◆ 内 容

(2021・2022年度)  
単位：千円

## スポーツ振興事業の事業実施計画 2021・2022年度 2/4

No.	事業名及び内容	対象者	時期 回数	1事業当たり		収支計画			
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
7	【水上競技の体験教室】 ◆はじめてのSUP体験教室（初心者向け） ◇目的：SUPに乗ってみたいと思われる方が、気軽に参加できる初心者向け体験教室を開催し、当施設のリビーター利用及び競技の普及につなげる。 ◇内容：安全・安心に配慮した初めての方対象の体験教室を開催。SUPの基本的な乗り方、楽しみ方など、初心者を対象にインストラクターによる体験教室を開催。	子ども 働き世代 女性	12 120			支出合計	講師費用	材料費	その他※
8	【子ども体育教室】※子ども対象 ◇目的：基礎的体力・運動能力の低下を受け、当施設を活用した体育教室を定期に開催することで、子どもたちの体力向上に寄与とともに、施設のリビート利用につなげる。 ◇内容：マット・跳び箱・鉄棒・かけっこ、体操、ダンス、キッズ空手などを開催。	子ども	10 200			支出合計	講師費用	材料費	その他※
9	【子ども体育教室】※親子対象 ◇目的：基礎的体力・運動能力の低下を受け、当施設を活用した体育教室を定期に開催することで、子どもたちの体力向上に寄与とともに、親子での参加により家族のコミュニケーションを深める機会を提供し、施設のリビート利用につなげる。 ◇内容：親子で参加できるプログラムとして、親子体操やかけっこ、マット、ダンスなど、親子で楽しめる内容で開催。	子ども 働き世代 女性	10 200			支出合計	講師費用	材料費	その他※
10	【フィットネス・トレーニングプログラム】 ◆ボイストレーニング ◇目的：運動に興味のない方に、運動とは違った切り口から興味を持つていただき、運動継続につなげることで、当施設の利用促進を図る。 ◇内容：海辺に向かって声を出す事で、ストレスを発散し、心身の健康増進を図ります。	働き世代 女性 障がい者	6 180			支出合計	講師費用	材料費	その他※
11	【フィットネス・トレーニングプログラム】 ◆脳トレ！リズム＆ストレッチ/ロコモ対策運動 ◇目的：運動に興味のない方に、運動とは違った切り口から興味を持つていただき、運動継続につなげることで、当施設の利用促進を図る。 ◇内容：同時に2つのことを行う、デュアルタスクトレーニングを用いて楽ししながら身体を動かします。	働き世代 女性 障がい者	6 120			支出合計	講師費用	材料費	その他※
12	【フィットネス・トレーニングプログラム】 ◆初心者向けヨガ ◇目的：幅広い利用者層を対象にプログラムを行う事で、世代間交流をとおして仲間づくりの機会を提供し、継続運動につなげる。 ◇内容：多様なヨガプログラムを実施し、興味のある方を運動に導く入門編としてプログラムを開催。	働き世代 女性 高齢者 障がい者	6 144			支出合計	講師費用	材料費	その他※

提案課題3-1 (1) 別表 スポーツ振興事業の事業実施計画（平成33～34年度（2021～2022年度））

◆ 内 容

(2021・2022年度)  
単位：千円

No.	事業名及び内容	対象者	時間 回数	1事業当たり		収支計画		
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費
13	【フィットネス・トレーニングプログラム】 ◆エンジョイエアロ ◇目的：一人でも参加しやすいプログラムを設けることで、個人のレベルに合わせたクラスを選択でき、プログラムの継続利用を図る。 ◇内容：脂肪燃焼や体力アップに効果的な有酸素運動を行う教室。参加者のレベルにクラスを設けて、幅広い方を対象に開催。	働き世代 女性	6	144		支出合計	講師費用	材料費 その他※
14	【フィットネス・トレーニングプログラム】 ◆パークで筋トレ/らくらく健康体操 ◇目的：身近な広場や公園などにある施設を活用したプログラムのため、プログラムへの参加を機会に、健康への関心を高めてもらうことを目的に開催。 ◇内容：施設の広場やウッドデッキなど、身近な場所での運動を紹介し、運動を生活の中に取り入れるきっかけを提供。	高齢者 障がい者	6	120		支出合計	講師費用	材料費 その他※
15	【フィットネス・トレーニングプログラム】 ◆マインドネス瞑想 ◇目的：運動に興味のない方に、運動とは違った切り口から興味を持ついただき、運動継続につなげることで、当施設の利用促進を図る。 ◇内容：世界的有名な経営者や各界の著名人も多く実践している、疲れた脳に深いリラックスをもたらす瞑想法を紹介。	働き世代	6	120		支出合計	講師費用	材料費 その他※
16	【フィットネス・トレーニングプログラム】 ◆健康セミナー/栄養セミナー/体力測定 ◇目的：身体をつくる、健康を維持する上で大切な食事について学ぶことで、健康への意識を高めていただくことを目的に開催。 ◇内容：健康に対する知識を提供し、健康で強い体を作るための栄養と食生活についての講座を開催。	働き世代 女性 高齢者 障がい者	6	120		支出合計	講師費用	材料費 その他※
17	【フィットネス・トレーニングプログラム】 ◆海辺ヨガ/ピラティス ◇目的：幅広い利用者層を対象にプログラムを行う事で、世代間交流をとおして仲間づくりの機会を提供し、継続運動につなげる。 ◇内容：海を見ながらのヨガ体験。春から秋の気持ちいい風を感じながら心身を整え、中級者向けにはピラティスも開催。	働き世代 女性 高齢者 障がい者	6	180		支出合計	講師費用	材料費 その他※
18	【フィットネス・トレーニングプログラム】 ◆マジムヨガヒップ～美尻～ ◇目的：一人でも参加しやすいプログラムを提供することで、参加をきっかけに当施設で提供するプログラムやトレーニングルームなどの利用へつなげる。 ◇内容：骨盤のゆがみを整え、股関節周りの筋肉の活性化を図り、日常生活動作でヒップアップが出来る運動を紹介。	女性	6	120		支出合計	講師費用	材料費 その他※

## 提案課題3-1 (1) 別表 スポーツ振興事業の事業実施計画〔平成33～34年度（2021～2022年度）〕

## ◆ 内 容

(2021・2022年度)

単位：千円

## スポーツ振興事業の事業実施計画 2021・2022 年度 4/4

No.	事業名及び内容	対象者	時期		1事業当たり		収支計画		
			回数	定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
19	【フィットネス・トレーニングプログラム】 ◆太極拳	働き世代 女性 高齢者 障がい者	6	180		収入合計	参加料	協賛金	その他※
	◇目的：幅広い利用者層を対象にプログラムを行ふ事で、世代間交流をとおして仲間づくりの機会を提供し、継続運動につなげる。 ◇内容：芝生の上で、太極拳教室を開催。					支出合計	講師費用	材料費	その他※
20	【レクリエーションプログラム】 ◇目的：ニュースボーツ体験をとおして、体力づくりや仲間づくりの機会を提供。 ◇内容：天候に合わせて、屋内・室内で、簡単に楽しめるボッチャやフライングディスクなど、ニュースボーツ体験を開催。	子ども	24	480		収入合計	参加料	協賛金	その他※
						支出合計	講師費用	材料費	その他※
21	【レクリエーションプログラム】 ◇目的：ニュースボーツ体験をとおして、体力づくりや仲間づくりの機会を提供。 ◇内容：天候に合わせて、屋内・室内で、簡単に楽しめるボッチャやフライングディスクなど、ニュースボーツ体験を開催。	高齢者	48	960		収入合計	参加料	協賛金	その他※
						支出合計	講師費用	材料費	その他※
22	【レクリエーションプログラム】 ◇目的：ニュースボーツ体験をとおして、体力づくりや仲間づくりの機会を提供。 ◇内容：天候に合わせて、屋内・室内で、介助者等も一緒に楽しめるベタングやスボーツ吹き矢など、ニュースボーツ体験を開催。	障がい者	24	240		収入合計	参加料	協賛金	その他※
						支出合計①			
		総合計	実施回数	参加人数		支出合計①			
			260	4,820		収入合計②			

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。
- 「6 収支計画（1）及び（2）」の金額と一致すること。

## (2) 自主事業

### <基本的な考え方>

- ◇当共同企業体は管理運営の柱である『「海・森・人」3つの魅力の融合で“にぎわい”を創出』を図ることを目的に、当施設の持つ空間・機能を存分に活用し、スポーツ・健康・文化をテーマとした多彩なイベントやレクリエーション活動など、**都民の来場意欲を誘発する話題性のある取組を展開します。**
- ◇スポーツ・レジャーを通じて多くの人々が楽しみ、輝くことのできるヒト・コトの交流拠点として、新たな利用者層の拡大と全都的・広域的な利用を促進し、**年間の自主事業利用者数 20,000 人の達成を目指します。**
- ◇豊かな水と緑の環境の中で、自然と都市の調和の大切さを実感できる場所として、自然回帰型のアーバン・リゾートを提供し、成熟都市・東京にふさわしい、**新たなスポーツ・レジャーの目的地として定着させます。**

### <具体的な実施内容>

#### ①チャレンジを応援する海の森アウトドアフェスティバル（仮称）の開催（4月予定）

カヌーなどの水上スポーツをはじめ、スラックライン、スポーツサイクル、ワークショップ、クッキングなどのプログラムを実施するほか、音楽・ダンスなどの都民ステージ、フードマーケット、アウトドアウェア・グッズの販売など、1日で水陸両方のアウトドアが満喫できるイベントを実施します。



#### 実績と 協働団体

- 当共同企業体代表は、全国の国営公園、都市公園7箇所において「OUTDOOR PARK」を開催し、年間10万人を超えるお客様をお迎えしています。
- アウトドアメーカーをはじめ、140社以上の協力を得ています。

#### ②子どもたちの記憶に残るキャンプイベントを開催（7月予定）

オリンピアンとの交流によるカヌーやボートの体験、テント・タープの立て方、野外調理など、**親子で参加できるサマーキャンプ**を「海の日」に実施します。あわせて、当施設の持つ恵まれた自然環境と都市環境をテーマとして、海・植物・生き物に直接触れて体験する環境学習プログラムを実施します。

※水上競技大会開催の場合は日程変更等を検討

・海の日（7月第3月曜日）の趣旨：「海の恩恵に感謝するとともに、海洋日本国の繁栄を願う日」

#### 実績と 協働団体

- 当共同企業体代表は、国営公園のオートキャンプ場やデイキャンプ場、「OUTDOOR PARK」において、キャンプイベントの企画運営を行っています。
- 当共同企業体代表及び構成団体Bのネットワークによりオリンピアン、パラリンピアンの派遣が可能です。
- 当共同企業体代表は、アメリカで開発された環境学習プログラム（環境省、国土交通省から環境教育推進法における人材認定等事業として登録。これまで約2万5千人の指導者を養成。）の日本代表団体であり、「自然や環境のために行動できる人」の育成を目的として、子どもから大人まで多くの方々に自然・生き物をテーマとした体験プログラムを提供してきました。

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

### 提案課題3 [ スポツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務 ] 1 事業の提供

#### ③海の森スポーツフェスティバル（仮称）の開催（10月予定※水上競技大会開催の場合は日程変更等を検討）

スポーツに適した環境と空間を活かし、[水上・陸上・屋内のフィールド](#)をフル活用し、誰もが楽しめ参加できる、多種多様なスポーツ・レクリエーションを一堂に会したフェスティバルを実施します。

開催日は「体育の日」を予定し、祝日制定の趣旨に基づき、スポーツ・レクリエーションを通じて、心身の健康をはじめ、東京湾や海の森の成り立ちや歴史、文化を知る機会とします。

- ・体育の日（10月第2月曜日）の趣旨：「1964年東京オリンピック競技大会の開会日を記念して定められたもので「スポーツに親しみ、健康な心身を培う」

##### 実績と 協働団体

- 都内国営公園  
ニュースポツ EXPO in 多摩（東京都、（一社）東京都レクリエーション協会ほか）
- 全国国営公園  
全国一斉あそびの日 ((公財)日本レクリエーション協会、全国レクリエーション普及団体)

#### ④冬季の日常利用と芝生広場の有効活用を促進するドッグランの開設（12月～2月を予定）

水上競技のオフシーズンの利用促進を図るために、[芝生広場](#)において期間限定のドッグランを開設します。都心の中では、愛犬と一緒に遊べる空間は貴重であり、愛犬も含めた心と体の健康につながると考えます。設置の際は、小型犬と中型犬・大型犬エリアに区分し、利用者トラブルを防止します。

##### 実績

- 当共同企業体代表団体は、全国の国営公園6公園でドッグランの管理運営を行っています。



#### ⑤マラソン・ウォーキングコースの開設による大会利用とセルフトレーニングの促進

当共同企業体代表と構成団体Cは、東京マラソン財団との協働により都内の国営公園において、マラソンコースの整備を行っています。そのノウハウを活かし、当施設においても[約2kmの周回コースを設定](#)し、学校等団体の大会誘致を図るほか、距離表示やノルディックウォーキングポール、万歩計の貸し出しサービスを行います。また、万歩計の歩数を記録し100万歩を目指す「海の森ヘルシーマイレージ」を実施し、隣接する海の森公園（仮称）との相互利用も可能とします。達成者には記念品を進呈し日常的な健康増進活動を誘発します。

##### 実績

- 当共同企業体代表は「リレーマラソン」大会を日本で初めて開催し、現在国営公園9公園で実施しています。

#### ⑥嗜好性の高いスクール・フィットネスの開講による自主的な継続利用の促進

構成団体Cは、女性向けフィットネス事業などを展開しており、その運営実績を活かし、ジャズダンスやベリーダンスなどの各種ダンスプログラムや、ボディデザインピラティス教室など嗜好性の高いプログラムを行います。また、定期的にスクールを開講することで、継続利用の促進と自発的な活動へつなげていきます。

##### 実績

- 構成団体Cは、年間約20万本の運動プログラムを提供しており、運動プログラム実施スタッフは社内に100名、契約インストラクター700名を擁しています。



事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題3-1 (2) 別表 自主事業の事業実施計画（平成33～34年度（2021～2022年度））

◆ 内 容

(2021・2022年度)  
単位：千円

No.	事業名及び内容	時期	1事業あたり		収支計画				
			定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
	回数	観客数	入場料	収入合計	参加料	協賛金	その他※		
1	【チャレンジを応援する海の森アクトアフェスティバル】 ◇目的：当施設の水上競技場、フィールド、施設の利用促進及びリビーターの獲得を得るために開催。 ◇対象：一般来場者 ◇内容：水上スポーツをはじめ、フィールドアクティビティ、ワークショップ、音楽ステージ、ファードマーケット、アウトドアウェア・グッズ販売など、水陸両方が楽しめるアウトドアフェスティバルを開催。 ※参加料収入は、水上スポーツ、フィールドアクティビティ等の参加費を合算。 ※2日間開催、集客目標は6500名（アクティビティ 参加者1800名）	4月	1,800	800	800				その他※
2	【子どもたちの記憶に残るキャンパイメント】 ◇目的：カヌー競技のオリンピアンとの触れ合いや、親子でのキャンプを通して、海や植物、生き物に触れるきっかけを提供し、当施設の魅力を知ってもらうと同時に利用促進を図る。 ◇対象：親子 ◇内容：子どもが主役の親子で体験するキャンパイメントを開催。はじめてのキャンプデビューを手助けすることとともに、水上スポーツを通じたオリンピアンとの交流、生き物に触れる環境教育プログラムなど、夏の思い出に残るサマーキャンプを開催。	7月	100	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
3	【海の森スポーツフェスティバル】 ◇目的：体育に日があわせて、当施設の水上競技場、フィールド、施設をフル活用したフェスティバルを開催することにより、新たなスポーツに触れ合うきっかけを提供するとともに、当施設の魅力を知ってもらい、継続的な利用促進を図る機会とする。 ◇対象：水上スポーツ競技者及び一般来場者 ◇内容：ボート、カヌー、ドラゴンボート、SUPなどプログラムとして提供しているアクティビティに加え、芝生広場等のエリアでの各種ワークショップやフィールドアクティビティが楽しめるフェスティバルを開催。 ※参加料収入は、ボート、カヌー、ドラゴンボート、SUPの参加料に、各種ワークショップ、フィールドアクティビティ参加費の合算。	10月	1,200	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
4	【冬季の日常利用と芝生広場の有効活用を促進するドッグラン】 ◇目的：水上競技のオフシーズンにあわせ、冬季の利用促進の一環としてドッグランを開設。 ◇対象：犬を飼っている方 ◇内容：都市の中で愛犬と気兼ねなく遊べる期間限定のドッグランを開設。小型犬と中型犬・大型犬エリアに区分したエリアを提供。	冬季 5ヶ月間	0	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
				収入合計	参加料	協賛金	その他※		
				4,500					

## 提案課題3-1 (2) 別表　自主事業の事業実施計画（平成33～34年度（2021～2022年度））

## ◆ 内容

(2021・2022年度)  
単位：千円

No.	事業名及び内容	時期	1事業あたり		収支計画							
			回数	観客数	定員	参加料/人	入場料	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
5	【マラソン・ウォーキング セルフトレーニング】 ◇目的：学校等の団体利用誘致をはじめ、各種大会の誘致を行い利用促進を図る。 また、日常的な健康増進活動を誘発することで、平日の利用促進にも取り組む。 ◇対象：学校、企業等団体、一般利用者 ◇内容：約2kmの周回コースを設定し、マラソンやウォーキングコースを開設。万歩計を用いて100万歩を目指す「海の森ヘルシーマイレージ」を実施するほか、学校等団体の大会等の誘致を行う。	通年	0					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
6	【スクール・フィットネス】 ◆ダンスプログラム ◇目的：嗜好性の高いプログラムを定期に行なうことで、継続利用の促進と自発的な活動につながるプログラムを提供。 ◇対象：女性・働き世代 ◇内容：ZUMBA、ジャズダンス、タヒチアンダンス、ベリーダンス、ラテンダンスなど、様々なダンスプログラムを取り入れた、スクールを開講。	隔週	600					収入合計	参加料	協賛金	施設利用料金	その他※
7	【スクール・フィットネス】 ◆海辺フラダンス ◇目的：嗜好性の高いプログラムを定期に行なうことで、継続利用の促進と自発的な活動につながるプログラムを提供。 ◇対象：女性・障がい者 ◇内容：海辺の開放的な気分に浸りながら、フラダンスを踊るスクールを開講。	隔週	600					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
8	【スクール・フィットネス】 ◆ボディサインビラティス ◇目的：嗜好性の高いプログラムを定期に行なうことで、継続利用の促進と自発的な活動につながるプログラムを提供。 ◇対象：女性 ◇内容：多彩な動きを組み合わせ、体幹部の安定と身体のバランスを整えるスクールを開講。	隔週	500					収入合計	参加料	協賛金	施設利用料金	その他※
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「[6 収支計画※ (参考) 自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支]」の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「[6 収支計画 (2) その他 (G)]」と金額が一致すること。										総入額①	収入総合計③	
● ● ● ● ● ● ● ● ● ●										支出総合計② (①を含む)	差引④ (③-②)	
● ● ● ● ● ● ● ● ● ●										20,000		

## 提案課題3 [ スポツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務 ] 1 事業の提供

### (3) 周辺連携事業

#### <基本的な考え方>

- ◇当施設は、東京都・新規恒久施設の施設運営計画に示されている「海の森・若洲・葛西のウォータースポーツエリア」に位置しています。周辺連携事業にあたっては、海の森公園（仮称）、そのほかの東京2020会場施設、海上公園、都市公園などと連携し、エリア一体となったマネジメントによりレガシーの創出に取組みます。
- ◇当施設と海の森公園（仮称）を核とする『海の森エリア活性化プロジェクト』（仮称）を立ち上げ、地域社会・都民の参画を促進し、愛着心と一体感を醸成しながらコミュニティの形成に努め、豊かな環境と各施設の資源を融合させた“にぎわい”を創出することで、地域の価値を高めます。

#### ① 【施設の価値向上】海の森公園（仮称）との連携により2つの施設の魅力を最大化

- ・当共同企業体は、海の森公園（仮称）でのスポーツ・レクリエーションと当施設の自主事業イベントとの共同開催を提案します。これにより、魅力と集客力が大幅にアップし、質の高いイベントを都民に提供することができると考えます。また、当施設単独では困難であった広域的な広報活動や最寄り駅からのシャトルバス運行、臨時駐車場の開設などの可能性が広がります。
- ・海の森公園（仮称）は、東京2020の総合馬術（クロスカントリー）の会場であり、大会中も緊密な連携が不可欠です。公園オープン後も日常的な連携・調整が求められますが、特に地震や台風、雷などの災害に対して、具体的な初動対応と事前対策を定めておくことが重要です。そのために緊急連絡体制、避難誘導ルート、帰宅困難者の受け入れ、合同防災訓練などに連携して取組みます。また、都民の災害意識を高めていく体験プログラムを、消防機関や国営東京臨海防災公園の協力により実施します。
- ・東京都港湾局が進める『「海の森」プロジェクト』などの関係者への屋内空間の提供、公園団体利用の雨天時の受け入れ、レンタルサイクル、貸し出しグッズの相互利用を可能とするサービス、管理用資機材の貸し借りなど、利用者の安全性・快適性の向上と業務効率化につながる取組みを提案します。

イベント・事業内容	当施設の役割	海の森公園（仮称）の役割
スポーツ・アウトドア・キャンプなどのフェスティバルイベント	水上スポーツプログラム、都民ステージ 屋内施設・便益施設の利活用	広場・園路でのプログラム 花景色、自然体験プログラム
イルミネーションイベント	屋上デッキからの眺望、水上のライトアップ演出、レストラン・休憩スペース	展望の丘からの眺望、樹木のイルミネーション演出
カヌースロン、トライアスロン、マラソンなどの競技大会を誘致	水上競技コース、ステージ、本部、VIP控え室、宿泊室	陸上競技コース
アウトドア・キャンプ	水上スポーツプログラム、バーベキュー	テント宿泊、ナイトハイク、夜景観賞
合同防災訓練・防災イベント	海上保安庁訓練、救命講習、セミナー	消防庁訓練、避難誘導訓練、消火訓練
環境学習プログラム	「海と生き物」のアクティビティ、座学	「森と生き物」のアクティビティ
野外コンサートの誘致	本部、出演者控え室、宿泊室	会場・ステージ（広場利用）
レンタルサイクル	貸し出し対応、自転車保管、園路	園路



事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

### 提案課題3 [ スポツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務 ] 1 事業の提供

#### ② 【エリア周遊の促進】東京 2020 レガシーとエリアの魅力を伝えるガイドマップの制作

- ・「海の森・若洲・葛西のウォータースポーツエリア」に位置する新規恒久施設をはじめとして、東京 2020 の競技会場となった都市公園、東京ゲートブリッジ、若洲海浜公園など魅力ある資源を紹介するガイドマップを制作し、**スポーツ・レジャー利用に役立つ情報ツールとして発信**します。コンセプトを「1964 から 2020 へ、江戸前から東京湾へ」とし、東京の今と昔を知ることのできる仕掛けを行います。
- ・当共同企業体代表が持つ環境学習のノウハウを活かし、海の森エリア、葛西臨海公園・葛西海浜公園、夢の島公園、東京港野鳥公園などの自然や野鳥、生物の情報を掲載したガイドマップを制作します。制作にあたっては、**、当共同企業体構成団体 B と連携して取組み、湾岸エリアの環境学習フィールドをネットワーク化**させます。



#### ③ 【教育支援】海の森エリアを加えた社会科見学ルートの設定

- ・東京都環境局埋立処分場、東京臨海風力発電所（東京風ぐるま）、東京ゲートブリッジなど都市環境・自然環境について学ぶことができる施設が隣接しており、**当施設の見学と東京 2020 ガイドを加えた社会科見学ルートを設定**し、教育委員会や学校団体に誘致活動を展開します。
- ・お台場エリアでは、船の科学館や日本科学未来館のほか、東京 2020 TOP スポンサーとしてオリンピック・パラリンピックの展示ブースを公開している大手電機メーカー展示施設などにも働きかけます。

#### ④ 【地域活性】東京の豊かな“食”をテーマとしたフードマーケットを開催

- ・大規模な水上競技大会やスポーツフェスティバルなどにあわせて、飲食サービスの充実と利用者の満足度向上を目的として、東京のグルメやショップを揃えたマーケットイベントを開催します。特に江東区は江戸前、屋形船、もんじゃ焼きなど独特的の和食文化が根付いており、**地元の魅力を発信する新たな場所として活用を促進**します。
- ・障がい者就労施設製品を販売する「まごころショップ」を同時に出店し、障がい者が“いきがいとやりがい”を感じられる活動となるよう積極的にサポートします。



事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題3〔スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務〕1 事業の提供

⑤【震災復興】「復興五輪」をおもてなしの花で彩る取組

- ・東日本大震災で犠牲になった女の子が亡くなつた現場に咲いたマーガレットの逸話とともに、全国で花を植える活動を実施している  
と連携し、「水上競技や東京2020エンブレム・イメージカラー（紅色、藍色）」などをテーマとした「東京2020おもてなし花壇」を造成します（東京都と協議の上）。
- ・東京2020終了後も、震災復興支援活動として花の植栽活動と合わせて、震災を語り継ぐ講演会を継続していきます。なお、  
は、海上公園の花壇植栽の実績を持つ団体です（との連携事業）。

⑥【産学連携】海の森ならではの研究・活動により「スポーツを支える人」を支援

- ・水上競技コースの水質改善や海の森オリジナルフードの開発など、産学連携による研究・開発に着手します。現時点では、漕艇部などによるモニタリング調査や共同イベントなど、都内の海洋系大学から連携の検討をいただいています。
- ・当共同企業体代表が協働実績を持つ、スポーツトレーナーやスポーツインストラクターを養成する専門学校との連携により、お客様サポートを学ぶ場を提供し「スポーツを支える人」を支援します。

⑦【都民交流】健康・仲間・絆をつくる「絶景ロゲイニング（仮称）」を開催

- ・海の森エリアの絶景ポイントをチェックポイントとした、絶景ロゲイニング・ウォーキングを開催します。ロゲイニングとは、地図とコンパスを使いチームで限られた時間内に、如何に多くのチェックポイントを回り、ポイントごとに設定された得点を多く獲得できるかを競う、ゲーム性と戦略性が高いイベントです。
- ・ウォーキングに馴染みの薄い、ファミリー層や女性グループを取り込むことにより、家族交流や参加者同士の交流、世代間交流を促進し、運動習慣定着に不可欠な仲間づくりや家族の絆づくりにつながると考えます。
- ・構成団体Cは、毎年約2,000名が参加する「大江戸線一周30kmウォーキング」に参画しており、運営するフィットネスジムからも1,000名以上の参加者を集め、そのノウハウを活かした運営を行います。



事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

## 提案課題3-1(3)別表①周辺連携事業（収支計画が作成可能な事業）[平成33～34年度（2021～2022年度）の事業実施計画]

(2021・2022年度)

## ◆ 内 容

No.	事業名及び内容	時期 回数	1事業あたり			収支計画			単位：千円
			定員 観客数	参加料/人 入场料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	
1	【エリア周遊の促進：東京2020レガシーとエリアの魅力を伝えるガイドマップの製作】 ◇目的：東京2020の競技会場となつた都内公園や東京ゲートブリッジ、若洲海浜公園など、スポーツ・レジャー利用に役立つ情報ツールとして発信するとともに、東京湾の野鳥や自然、生物の情報を掲載し、環境学習のフィールドも紹介することで、海の森エリアへの集客を図る。	夏 1回	0						
1	◇対象者：一般利用者 ◇内 容：管：「海の森・若洲のウォータースポーツエリア」に位置する新規造り施設をはじめ、東京2020の競技会場となつた都内公園、東京ゲートブリッジ、若洲海浜公園などの魅力ある資源を紹介するガイドマップを「1964から2020～、江戸前から東京湾へ」をコンセプトを作成。			0	収入合計	参加料	協賛金		その他※
2	【地域活性・東京の豊かな“食”をテーマとしたフードマーケットを開催】 ◇目的：大規模な大会やスポーツフェスティバルにあわせて、飲食サービスの充実と利用者満足度の向上を目的として、東京のグルメやショッピングを始めたマーケットイベントを開催。	5月・7月・8月 ・10月・12月 5回	0		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
2	◇対象者：一般利用者及びスポーツ競技者 ◇内 容：東京のグルメやショッピングを揃えたマーケットを集めるとともに、障がい者就労施設製品を販売する「まごろしきショッピング」を同時出店し、障がい者が“いきがい”と“やりがい”を感じられる活動となるよう積極的にサポート。		2,500	収入合計	参加料	協賛金			その他※
3	【震災復興：「復興五輪」をおもてなし花で彩る取り組み】 ◇目的：東京2020の開催に合わせて、世界から訪れるお客様へ「おもてなし花壇」として造成。 ◇対象者：施設利用者・来場者 ◇内 容：東日本大震災で犠牲になつた女の子の、亡くなつた現場に咲いたマーガレットの逸話とともに、全国花を植える活動を行つている また、東京2020終了後も、震災復興支援活動として花の植栽活動と震災を語り継ぐ講演会を继续。	3月 1回	0 50	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金		その他※
4	【都民交流：健康・仲間・幹をつくる「絶景ロゲイニング（仮称）」を開催】 ◇目的：ロゲイニングへの参加を通じ、海の森エリアの絶景や魅力を周知するとともに、ウォーキングに馴染みの薄い層を、ロゲイニングというゲーム性と駆動性の高いイベントで取り込むことで、新たな層の利用者誘致を図る。 ◇対象：ファミリー・女性グループ・働き世代 ◇内 容：海の森エリアの絶景ポイントをチェックポイントとした、絶景ロゲイニング・ウォーキングを開催。		500	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金		その他※
			0	収入合計	参加料	協賛金			その他※
									収入総合計③
									支出総合計②（①を含む）
									差引④（③-②）
									⑦」と金額が一致すること。

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- 「その他※」の具体的な内容を事業名及び内容に記述すること。
- 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※（参考）自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。
- 総入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「5 収支計画（2）その他

## 周辺連携事業（構想段階の事業）の事業実施計画 2021・2022年度 1/1

提案課題3-1 (3) 別表② 周辺連携事業（構想段階の事業）の事業実施計画【平成33～34年度（2021～2022年度）】

(2021・2022年度)

◆ 内容

単位：千円

No.	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		
			定員	参加料/人	
			観客数	入場料	
1	【施設の価値向上：海の森公園（仮称）との連携により2つの施設の魅力を最大化】 ◇目的：海の森公園（仮称）との共同イベントを開催することにより、当施設および海の森エリアの魅了と集客を大幅にアップさせるとともに、当施設単独では困難であった広域的な後方活動などの可能性を広げる。 ◇対象者：一般来場者・スポーツ利用者 ◇内容：海の森公園でのスポーツ・レクリエーションと当施設の自主事業イベントとの共同開催。水上スポーツをはじめ、アウトドア、合同防災イベント、野外コンサートなどを開催。	通年	0		
		4	0		
2	【施設の価値向上：海の森公園（仮称）との連携により2つの施設の魅力を最大化】 ◇目的：隣接する海の森公園とは緊密な連携が不可欠なため、具体的な初動対応と事前対策を定め、合同防災訓練など連携強化を図る。 ◇対象者：施設職員・スタッフ ◇内容：地震、台風、雷をはじめとする災害に対し、具体的な初動対応、事前対策などを定め緊密な連携を図る。	通年	0		
		2	0		
3	【施設の価値向上：海の森公園（仮称）との連携により2つの施設の魅力を最大化】 ◇目的：東京都港湾局が進める『「海の森」プロジェクト』などの関係者への屋内空間の提供し、公園団体利用の雨天時の受け入れ、利用者の安全性・快適性の向上と業務効率化につながる取り組みを図る。 ◇対象者：一般来場者・団体利用者など ◇内容：雨天時などの利用受け入れをはじめ、レンタルサイクル、貸し出しグッズの相互サービスを可能とするサービスを提供。	通年	0		
		随時	0		
4	【教育支援：海の森エリアを加えた社会科見学ルートの設定】 ◇目的：当施設の見学と東京2020ガイドを加えた社会科見学ルートを設定することで、学校団体などの誘致を図る。 ◇対象者：学校などの団体 ◇内容：お台場エリアでは、船の科学館や日本科学未来館のほか、東京2020TOPスポンサーとして展示ブースを公開している大手電機メーカー展示施設などとも連携したルートを設定。また、周辺には都市環境・自然環境を学ぶ施設が隣接していることから、それら施設もルートに加える。	通年	0		
		随時	0		
5	【産学連携】海の森ならではの研究・活動により「スポーツを支える人」を支援 ◇目的：水上競技場コースの水質改善や海の森オリジナルフードの開発など、産学連携による研究・開発に着手し、当施設の可能性を広げる。 ◇対象者：大学などの教育機関 ◇内容：現時点では、都内海洋系大学との連携を想定し、モニタリング調査、共同イベントなどの開催。また、水質改善などへの取り組みについては人材支援などを想定。	通年	0		
		随時	0		
6	【産学連携】海の森ならではの研究・活動により「スポーツを支える人」を支援 ◇目的：「スポーツを支える人」を支援するため、当施設を活用しお客様サポートを学ぶ場を提供。 ◇対象者：専門学校生・スポーツインストラクターなど ◇内容：スポーツトレーナーやインストラクターを養成する専門学校と連携し、お客様サポートを学ぶ場を提供し「スポーツを支える人」を支援。	通年	0		
		4	0		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。</li> </ul>		総合計	実施回数	参加人数	
			10回以上	—	

#### (4) 利用者に対するサービス提供事業

##### <基本的な考え方>

- ◇私たちは、都市公園やフィットネスクラブなどの運営を通じて、高い顧客満足度を確保しており、本施設においても、スポーツ利用やレクリエーション利用など、あらゆる利用形態とお客様のニーズに応える質の高いサービスを提供します。
- ◇物販やレンタル、駐車場事業は、これまでの経験やノウハウをいかし、魅力的かつ効果的な商品構成や料金、オペレーションで実施します。また、モニタリング調査やアンケート調査を行い、常にサービスレベルの確認と改善を行います。

##### <具体的な実施内容>

###### ①売店運営：充実の品揃えとお客様ニーズに応えたサービス提供

- ・当施設の周辺には、コンビニエンスストアなど物販店舗がないため、栄養補給食品やスナック菓子などを販売するほか、スポーツ・レジマー、万一に備えた商品を販売します。

利用対象	販売商品例
スポーツ	ウェア類：Tシャツ、パンツ、ソックス、キャップ など アイテム類：ウェストポーチ、ドリンクボトル、トレーニングチューブ など ケア用品：アイシングバッグ、コールドスプレー、サポーター、テーピング など
救護・衛生	タオル、紙おむつ、衛生用品、救護用品、洗面用品、日焼け止めクリーム など
レジマー	シート、ボール、カイト、バドミントンセット など

- ・大会やイベント、合宿など団体利用者の要望に応じ、食堂での飲食サービスや弁当の手配等を行います。

###### ②自動販売機設置：スポーツ利用者、障がい者スポーツを支援する自動販売機を設置

- ・スポーツドリンクを中心に、各種メーカーの商品を取り揃えたミックス機を設置します。また、飲料のほか、エナジーバーやパン、アイスなども提供します。
- ・導入する機種は、ユニバーサルデザインや災害支援、電子マネー対応型とし、お客様の利便性向上を図ります。
- ・一部の機種に寄付型自動販売機を導入し、障がい者スポーツの発展に寄与します。

###### ③駐車場運営：身体に不自由を持つ方への配慮・効率的な運営

- ・大会やイベントの開催時など、混雑が予想される場合は、予めホームページや看板等で情報を提供するほか、公共交通機関の利用を勧めることで、周辺道路も含めた渋滞等の解消を図ります。
- ・「東京都福祉のまちづくり条例」のガイドラインに沿い「思いやり駐車区画」を設け、障がい者や歩行困難者、妊婦などが優先して利用できる環境を整えます。
- ・混雑時に「思いやり駐車区画」の利用が困難な場合は、施設入口付近で乗降できるようスタッフを配置し、アテンドを行います。

###### ④レンタルサービス：お客様のニーズに寄り添い、リピーター利用を促進

- ・気軽にアウトドア気分を味わえる用具や、大会・イベント時に必要となる機器・用品を用意し、貸し出すことで、利便性の向上を図ります。

対象者	レンタル品
一般利用向け	テント、テーブル、チェア
大会利用向け	映像・音響・放送・通信機器類、電動アシスト自転車、リヤカー、拡声器

- ・会議や研修時には、パソコンやプロジェクター、ポインターなどを貸し出します。

- ・施設利用時に不要となる手荷物等を預かるコインロッカーを設置します。

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

提案課題3-1 (4) 別表 利用者に対するサービス提供事業の事業実施計画【平成33～34年度 (2021～2022年度)】

(2021・2022年度)

単位：千円

◆ 内 容

No.	事業名及び内容 (目的、料金、提供方法、営業時間、運営体制等)	収支の積算方法 (支出には、人件費及び消費税も含む。)	指定管理者の収支計画 支出	収入
1	<p>◆売店運営：充実の品揃えとお客様ニーズに応えたサービス提供</p> <p>◇目的 当施設の周辺には、コンビニエンスストアなど物販店舗がないため、スポーツやレジャーに必要な商品を販売します。</p> <p>◇料 金：</p> <p>◇提供方法：対面式販売</p> <p>◇営業時間：通常（9:00～17:00）</p> <p>◇宿泊利用時（7:00～22:00）</p> <p>◇運営体制：繁忙期にはアルバイトを配置し、開放期は職員・スタッフが状況に応じて対応</p>			
2	<p>◆自動販売機設置</p> <p>スポーツ利用者への配慮と、障がい者スポーツを支援する自動販売機を設置。</p> <p>◇目的 スポーツドリンクを中心各種メーカーの品種を取り揃えたミックスマシンを導入。エナジーパーやパン、アイスなども提供。また、ユニバーサルデザイン、災害支援、電子マネー対応型、一部には寄付型自動販売機も導入し、障がい者スポーツ支援に貢献します。</p> <p>◇料 金：</p> <p>◇提供方法：自動販売機による販売</p> <p>◇営業時間：24時間</p> <p>◇運営体制等：業務委託</p>			
3	<p>◆駐車場運営：身体に不自由を持つ方への配慮・効率的な運営</p> <p>◇目的 「東京都福祉まちづくり条例」のガイドラインに沿って、思いやり駐車区画を設けるなど、障がい者や妊娠などが優先して利用できる環境を整えます。また、混雑が予測される場合には、混雑予想や状況をWebで配信し、混雑などによる渋滞緩和につなげます。</p> <p>◇料 金：</p> <p>◇提供方法：コインパーキング方式</p> <p>◇営業時間：24時間</p> <p>◇運営体制等：業務委託</p>			

提案課題3-1 (4) 別表 利用者に対するサービス提供事業の事業実施計画【平成33～34年度 (2021～2022年度)】

(2021・2022年度)

単位：千円

No.	事業名及び内容 (目的、料金、提供方法、営業時間、運営体制等)	収支の積算方法 (支出には、人件費及び消費税も含む。)	指定管理者の収支計画	
			支出	収入
◆レンタルサービス お客様のニーズに寄り添い、リピーター利用を促進 大会やイベント時に主催者が持ち込む用品を用意し、貸し出すことで、利便性の向上を図るとともに、誘致促進を図ります。	◆レンタルサービス 大会やイベント時に主催者が持ち込む用品を用意し、貸し出すことで、利便性の向上を図るとともに、誘致促進を図ります。 ◆料金： ◆提供方法：事前予約及び当日受付にて貸し出し ◆営業時間：9:00～17:00（営業時間延長に伴い変動あり） ◆運営体制等：職員・スタッフに対応による貸し出し			

- 利用者サービス事業の具体的な提案を記述して下さい。
- 「収支計画」は、指定管理者の年間収支を記述して下さい。
- 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに記述して下さい。
- 支出合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画※ (参考) 自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。
- 繰入金①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画 (2) その他 (G) 」と金額が一致すること。

## (1) 広報

### <基本的な考え方>

◇広報にあたっては、当施設の認知度向上と利用促進を目的として、年間の広報計画を作成の上、独自の「広報マニュアル」と当共同企業体の実績やネットワークを最大限に活用して実施します。

### <具体的な取組み内容>

#### ①年間広報計画を作成し、施設の魅力を効果的に発信

- ・達成すべき目標（KPI）を設定のうえ、当施設の利用者数と報道件数に大きく影響するスポーツ振興事業・自主事業によるイベント・プログラムの情報を適時に発信するため、「年間広報計画」を作成します。
- ・当共同企業体の「広報マニュアル」を活用し、情報の発信区域、ターゲットを絞り、効率的に発信します。
- ・都庁窓口におけるチラシ等の配布、公式ホームページ等の東京都広報媒体への記事掲載など、東京都が行う各種広報活動に、原稿作成やチラシ送付により都庁広報へ協力します。

#### ②ネットワークと実績を活かした広報

- ・毎年度「海の森水上競技場要覧」を発行します。
- ・施設情報をわかりやすく紹介したリーフレット（4か国語・ユニバーサルフォント使用等）、イベント・プログラムのポスター・チラシを作成し、周辺体育施設・公園施設、当共同企業体管理運営施設に配布します。
- ・水陸の競技団体へは、大会モデルプランを紹介する「利用の手引き」による訪問営業を行います。

#### ③ホームページとSNSを連動させた情報発信で話題性アップ

- ・当施設独自のホームページをスマートフォン向けサイトと併せて開設します。ホームページ内にスタッフブログを開設し親しみやすい情報を発信するとともに、ホームページをSNSと連動させ、クチコミ情報として拡散する仕組みを構築します。
- ・当施設ならではのダイナミックな景観をドローンにより動画撮影し、季節、朝日、夕景など、今ここでしか見られない話題性のある風景映像を発信します。
- ・関係団体ホームページと相互リンクを張るなど利用者に分かりやすい情報提供に努めます。
- ・総務省「みんなの公共サイト運用ガイドライン」に基づき、ウェブアクセシビリティ方針を策定・公開し、日本工業規格「JIS X8341-3」の適合レベルAAに準拠するよう努めます。

#### ④ノウハウをいかしたプレスリリースの作成・発信

- ・大規模な競技大会やイベント・プログラムなど、ニュースバリューのある情報を積極的に都庁記者クラブ宛にプレスリリースするほか、江東区・大田区の広報誌への掲載を依頼します。プレスリリース作成にあたっては、当共同企業体の「広報マニュアル」を活用し、見出しやレイアウト、表現など、取材につながる工夫をします。

#### ⑤利用者の意見を広く収集し、情報発信をより効果的に

- ・効果的に情報を収集・発信するため、ご意見箱やアンケート調査（年1回）から当施設の情報の到達度をはじめサービスやプログラムの満足度を把握し、内容と方法を継続的に見直します。また、寄せられたご意見は、「お客様データベース」に登録し、迅速な情報共有を図るとともに改善策を講じます。
- ・アスリートや子育て世代、高齢者などのグループインタビューの実施に加え、当共同企業体が管理運営する施設において来園者数や満足度向上に寄与している優良事例をもとに、潜在ニーズを把握し、サービスや実施内容の改善・魅力向上に努めます。

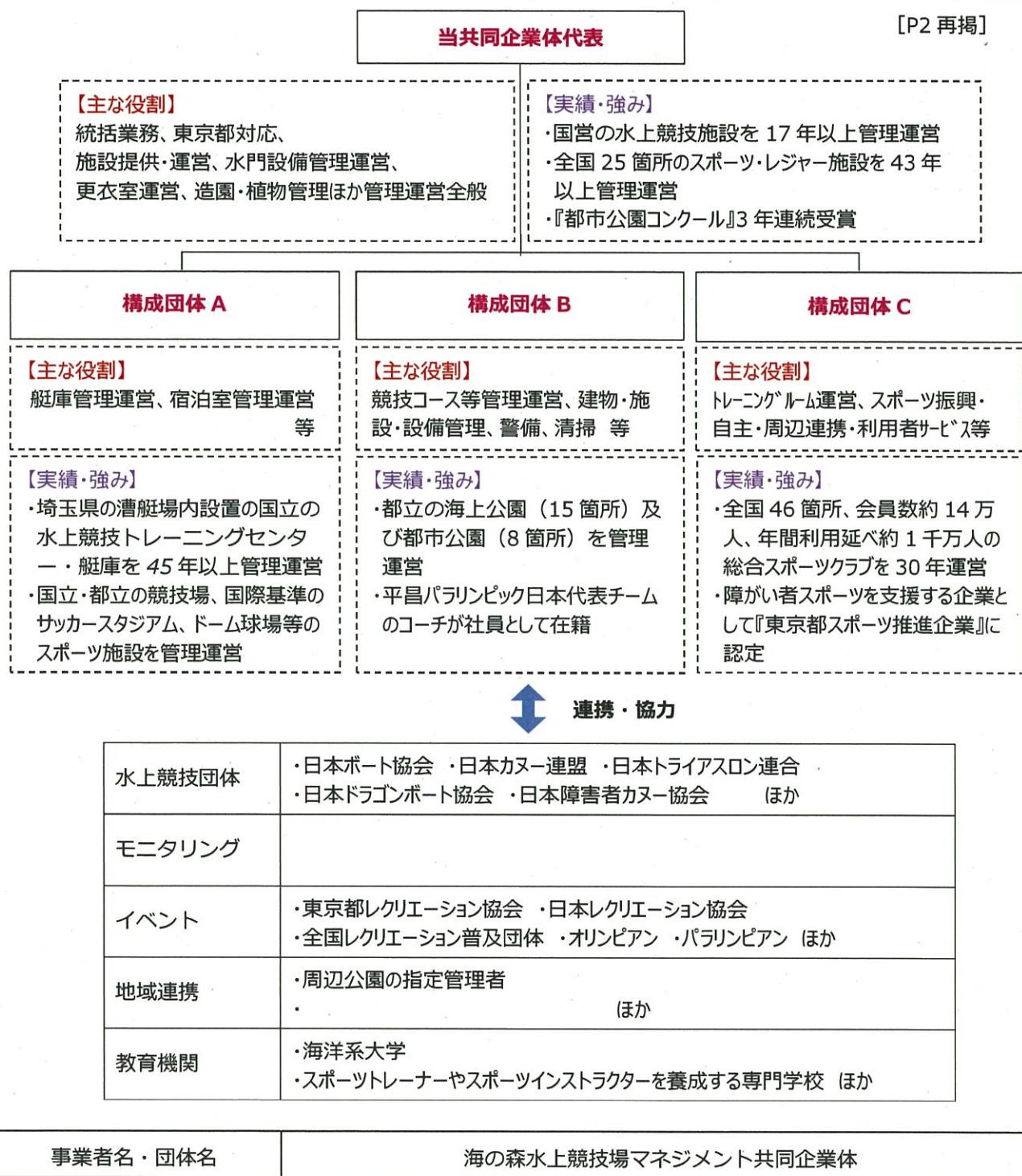
事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

## 提案課題4 [組織及び人材] 1 効果的かつ効率的な組織体制の確保

### (1) 基本的な考え方

- ◇本施設の魅力を最大限に引き出すとともに、様々な水上競技の裾野拡大への貢献、そして都民・国民のスポーツ・レジャー利用や健康増進の場となるよう、多様なニーズに柔軟に対応できる人材を配置します。
- ◇当共同体は、国営の水上競技施設のマネジメントをはじめ、国立水上競技トレーニングセンター・艇庫、都立の海上公園、そして総合スポーツクラブ等、本施設の運営に必要な経験と専門性を有しており、これらの実績を活かし、適切な人材を配置します。

### (2) 運営体制（組織図、業務分担）



## 効果的かつ効率的な組織体制の確保 別表

各部門の所要人員について

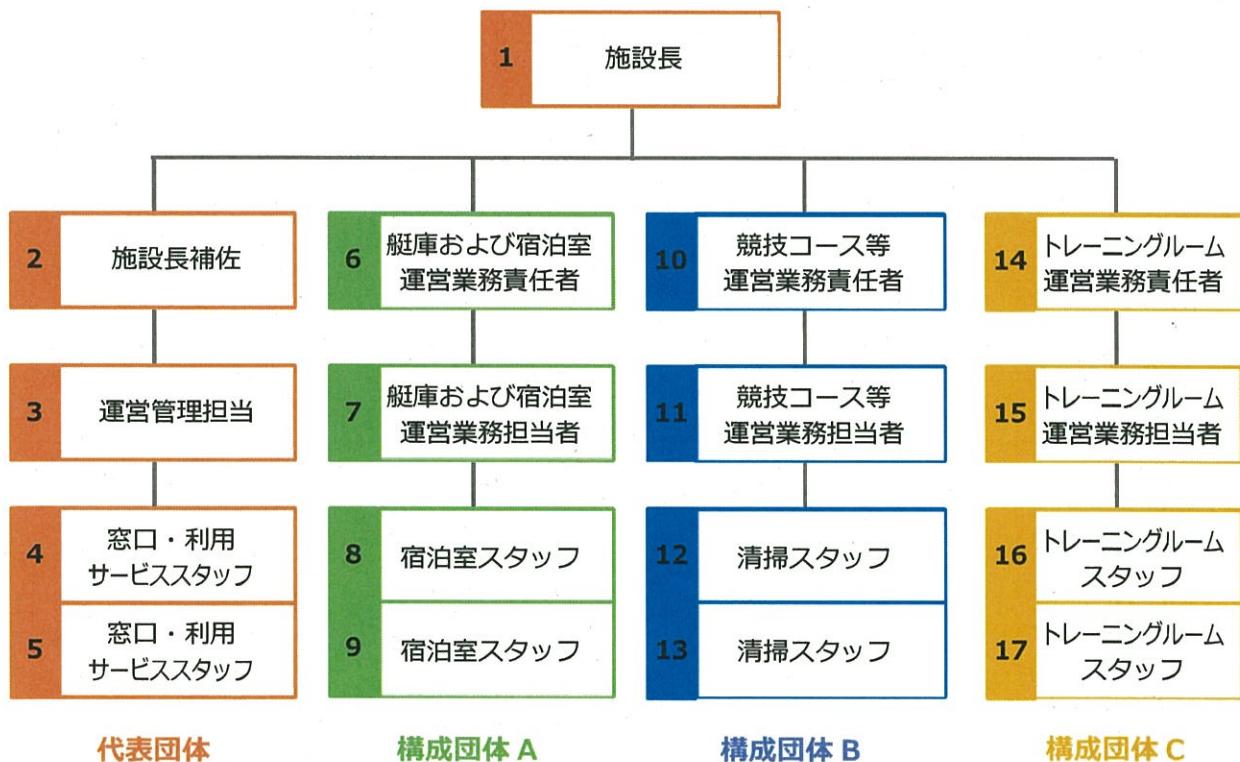
	役職	担当業務内容	能力・資格 実務経験年数等	雇用形態			1週間の 勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託		
1	施設長 (施設等管理責任者) (個人情報取扱責任者)							
2	施設長補佐 (物品等管理責任者) (個人情報取扱者)							
3	運営管理担当者							
4	窓口・利用サービススタッフ							
5	窓口・利用サービススタッフ							
6	艇庫・宿泊室運営業務責任者 (個人情報取扱者)							
7	艇庫・宿泊室運営業務担当者							
8	宿泊室スタッフ							
9	宿泊室スタッフ							
10	競技コース等運営業務責任者 (個人情報取扱者)							
11	競技コース等運営業務担当者							
12	清掃スタッフ							
13	清掃スタッフ							
14	トレーニングルーム運営業務責任者 (個人情報取扱者)							
15	トレーニングルーム運営業務担当者							
16	トレーニングルームスタッフ							
17	トレーニングルームスタッフ							

## 提案課題4 [組織及び人材] 2 明確な責任体制の構築

### <基本的な考え方>

- ◇本業務の施設長は、国営公園など豊富な都市公園の管理運営経験と資格を保有する当共同企業体代表の職員を配置するとともに、業務ごとに責任範囲を明確にした責任体制を構築します。
- ◇施設内サービスに関する業務をはじめ、スポーツ振興事業、自主事業、周辺連携事業、利用者に対するサービス提供事業等のコーディネートを担当する、施設長補佐、担当者を当共同企業体代表が配置します。
- ◇艇庫及び宿泊室の運営業務は、埼玉県の漕艇場内設置の国立の水上競技トレーニングセンター・艇庫を43年以上管理運営する実績を活かし、構成団体Aが責任者、担当者を配置します。
- ◇競技コースの運営業務をはじめ施設管理、警備清掃等は、都立の海上公園（15箇所）及び都市公園（8箇所）の管理運営の実績を活かし、構成団体Bが責任者、担当者を配置します。
- ◇トレーニングルーム運営業務は、年間利用延べ約1千万人の総合スポーツクラブを30年運営する実績を活かし、構成団体Cが責任者、担当者を配置します。
- ◇なお、当共同体の責任分担が最も大きい代表団体が、全体マネジメントの役割を担い、内部統制や外部調整の窓口を努め、当施設の管理運営の一元化を図ります。

### <具体的な運営体制>



- ◇勤務体制にあたっては、当施設の開場時間や平成33年度から予定されている宿泊室の運営、大会開催日のスケジュールに合わせた体制を整え、競技者や来場者へのサービス水準を維持します。あくまでも、利用調整・受付業務ならびに利用者へのサービス提供業務がある場合のスタッフ体制となります。

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題4〔組織及び人材〕 3 適切な勤務体制等

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題4〔組織及び人材〕 3 適切な勤務体制等

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

## 提案課題4 [組織及び人材] 4 人材育成の取組

### <基本的な考え方>

- ◇協定締結日から施設の引渡しまでの「準備期間」、東京 2020 大会準備から大会後の工事終了までの「維持管理期間」、そして後利用が開始される「運営期間」の**3つのステージを意識した人材育成**に取り組みます。
- ◇業務開始前の人材養成として、「準備期間」では当共同体の配置職員を対象に、そして一般供用の開始を控えた「維持管理期間」では、配置職員に加え新規に採用する全てのスタッフを対象にスタッフ教育を実施します。
- ◇「運営期間」の人材育成として、満足度向上・管理全般に関する研修や、事故の未然防止を前提とした安全管理等に関する研修を計画的に実施します。また、計画した研修以外にも社会動向や発生トラブルに応じ、OJTはもちろんのこと、朝礼・終礼、チームミーティングにて反復的・継続的なスタッフ教育を行います。

### ●業務開始前の人材育成プログラム

【基礎的な研修】 対象者：全スタッフ

業務基礎研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当施設の設置目的、施設特性、関連法令、周辺施設等の把握</li> <li>・利用者の安全確保・救急救命及び労働安全衛生に関する基本事項</li> <li>・管理運営計画・管理運営状況の把握及び実施にあたっての留意事項</li> </ul>	業務開始前 及び 新規採用時
オペレーションスキル研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者案内・規則、館内や有料施設の利用手順を習得</li> <li>・「東京都スポーツ予約システム」等の各種受付方法を習得</li> </ul>	
コンプライアンス研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護の取扱い・ルール及び機密保持の厳守</li> <li>・人権尊重、ハラスメント防止、労働安全衛生規則の重要性の理解</li> </ul>	

### ●管理運営中の人材育成プログラム

【利用者満足度向上・管理全般】 対象者：全スタッフ

接客・接遇研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション能力の向上とともに、多様な利用者に対する平等・公正な対応、利用ルール、法令遵守に関する研修</li> </ul>	年1回
ユニバーサルデザイン研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者疑似体験や車いす体験等による高齢者、障がい者等に対する配慮やサポート能力の向上を図る研修</li> </ul>	年1回
外国人コミュニケーション研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪日・駐日外国人の利用増加を見据え、基本的な英会話とコミュニケーション能力の向上を図る研修</li> </ul>	年1回
個人情報保護研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公の施設としての機密保持、個人情報保護の重要性を理解し、個人情報の管理を習得する研修</li> </ul>	年1回

【安全管理・危機管理の徹底】 対象者：全スタッフ

安全衛生研修 (安全衛生委員会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の安全確保及び労災防止のための教育・訓練</li> <li>・職場安全パトロール、不安全行動チェック、ヒヤリハット共有</li> <li>・イラストや作業写真を使った危険予知トレーニング</li> </ul>	毎月
防災訓練 (緊急時対応含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防機関による火災予防のための講話と、初期消火活動、応急手当、負傷者搬送の訓練</li> <li>・地震災害発生時の緊急通報、避難誘導等の実践的訓練（「危機管理マニュアル」の徹底）と、地震に対する知識を学ぶ研修</li> </ul>	年2回
普通救命講習 水難事故対応研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防機関や応急手当普及員スタッフによるAED操作・心肺蘇生法と、水難事故や傷病者発生時の初動対応訓練</li> </ul>	年2回
犯罪・テロ対策訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察機関による最新の犯罪発生傾向や対策方法の講話と、サスマタ・護身術等の訓練</li> </ul>	年1回
ライフ・ワーク・バランス研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疲労蓄積度診断、ストレスチェック等による、心と体の健康の重要性を理解し、安全・快適な職場環境を形成するための知識を学ぶ</li> </ul>	年2回

【利用サービスの向上】 対象者：全スタッフ

スポーツ体験講習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボート、カヌー、トレーニングルームの魅力を利用者に伝えるための体験講習会</li> </ul>	年1回
「海の森検定」の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者案内の質を高めるため、当施設、海の森エリア、東京 2020、東京港、周辺施設などの情報・知識に関するテストを実施</li> </ul>	年1回

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

## (1) 施設、附属設備及び物品の維持管理

### <基本的な考え方>

- ◇施設、附属設備及び物品の維持管理においては、**施設長を「施設等管理責任者」、施設長補佐を「物品管理責任者」に任命**し、各業務責任者との緊密な連携により、迅速かつ適切な維持管理を行います。
- ◇当施設は新規に整備されたため、点検や修繕履歴などの記録がないことから、指定管理業務開始時に特徴や操作方法などを把握し、「**施設設備管理台帳**」を作成します。
- ◇物品は新規に用意されたものが多いため、「**管理者別物品一覧表**」の作成とともに、品名や型番、数量、配置場所等を明確にしたうえで、状態等を含めた保管記録をデータ化し、適切に管理します。
- ◇「**施設点検マニュアル**」に基づく、点検や修繕を行い、結果を常に記録をデータ化することで、予防保全に活かすほか、物的被害や費用的損失を最小限に留めるアセットマネジメントを推進します。
- ◇沿岸部に立地する環境にあるため、塩害が生じる可能性があること、それらを踏まえた管理計画を作成するとともに、資格と経験を有する業務責任者等を配置し、安全・衛生・機能の確保に努めます。

### <具体的な取組内容>

#### ①施設点検

- ・点検対象や方法、頻度、状態等を整理した「**施設点検チェックリスト**」を作成し、清掃や巡回員なども含めたすべてのスタッフが、目視や触診、打診により日常点検を行い、多重チェックによる危険や不具合箇所の見落としを防止します。
- ・大規模な大会や多客期前に担当者以外のスタッフも含めた臨時点検を行い、利用頻度が低い施設もあわせて、全体の状態を把握します。
- ・施設等管理責任者（施設長）を中心とした毎月の「**安全パトロール**」や当共同企業体の本社による年1回の「**安全衛生検査**」など、定期点検を行います。
- ・法令で定められた点検を要する設備等は、専門業者等により、適切に行います。（「**委託業務一覧**」参照）

#### ②物品保守管理

- ・当施設の備品は、利用者が使用する備品と指定管理者のみが使用する備品に分けられるため、使用者や用途等に応じた保管を行います。
- ・すべての備品はデータベース化した台帳に登録し、取得日や所在地などを明確にします。
- ・貸出物品は、貸出の前後に損傷や不具合等を使用者とともに確認し、常に良好な状態を保ちます。
- ・故障や不具合が生じた場合は、状況写真や原因等を記録し、迅速に東京都に報告するとともに、適切に廃棄処分します。
- ・新規に備品等を取得する場合は、納品時の確認に加え、購入日や配備場所を台帳に登録し、タグやシールを取り付けます。

#### ③清掃

- ・清掃レベルの平準化を図るため「**清掃マニュアル**」を作成し、清掃スタッフを中心に施設全体の除塵やゴミ収集、トイレ清掃、手すりや表示物の水拭きなど、日常清掃を行います。また、清掃後は「**清掃チェックシート**」に内容を記載し、作業の可視化を図ります。
- ・窓ガラスやシャッター、観覧席など塩害を受けやすい屋外の施設は、真水による洗浄をこまめに行います。
- ・トイレの清潔さは、満足度に大きく影響するため、利用状況に応じて臨機にスタッフの人数や頻度を設定するほか、トイレットペーパーやハンドソープ、芳香剤の補充を適宜行います。
- ・専用の洗剤や機械を使用する床面のワックス塗布や外壁の高圧洗浄などは、定期清掃にて行います。
- ・台風の通過後や大規模競技大会後などは、利用に支障が生じないよう、開園時間前後に臨時清掃を行います。

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

## 提案課題 5 [ 施設の維持管理その他管理運営に関する業務 ] 1 施設、附属設備及び物品の維持管理

### ④植栽地管理

- ・当施設の景観構成や防風及び防潮、レクリエーション機能を有する植栽を適切に維持管理するため、当共同体代表が国営公園・都市公園等で使用する「植物管理マニュアル」に基づき、機能に適したメリハリのある管理を行います。
- ・快適な水上の利用環境を確保する防風林を健全に育成するため、当共同体代表の樹木医による樹木点検を行います。また、作業にあたっては、東京都中央防波堤外側埋立処分場管理者の許可が必要なため、緊急時を除き、計画的に行います。
- ・病害虫が発生した場合は、原則として薬剤散布は行わず、捕殺等により駆除します。やむを得ず散布する場合は、「植物病害虫防除マニュアル」に沿い、東京都と協議のうえ、事前告知を行い、利用者の少ない時間帯、海への飛散防止のため風の弱い時に実施します。

### ⑤異常発生時の対応・体制

- ・巡回点検時や設備の異常警報、利用者からの通報など、施設・物品の異常を発見した場合は、施設長をはじめ正規職員が現場を確認し迅速な対応を図ります。
- ・夜間の設備や機械警備の異常警報については、警備員が現場に急行し、状況を施設長や業務責任者等に電話報告、必要に応じて現場対応を行います。なお、当施設より車で30分圏内に正規職員を居住させます。

## (2) 施設の修繕

### <基本的な考え方>

- ◇当施設は新規に整備されたため、老朽化が原因となる修繕はなく、不適切な使用や高頻度の使用、不可抗力による施設の不具合が考えられます。そのため生じた不具合に対する「経常修繕」を行い、これに基づいて計画的に実施する「計画修繕」を行います。
- ◇修繕を行う場合は、施設等管理責任者（施設長）が緊急度や危険度、工期、費用面等を考慮したうえで、総合的に手法や時期等を判断します。

### <具体的な取組内容>

- ・利用の予定がある施設や使用頻度の高い施設は迅速な対応が必要であることから、危険度が低い場合は、応急修繕を行います。
- ・修繕を外注することが効率的かつ効果的な場合は、これまでに構築した専門業者とのネットワークを活用するとともに地元業者を優先します。
- ・施設の利用制限を伴う修繕を行う際は、事前にホームページや掲示物にて告知するとともに、修繕中は立ち入り制限措置を取るなど、安全管理の徹底を図ります。
- ・直営、外注に関わらず、修繕の内容はデータベース化し、今後の修繕計画に反映させます。
- ・指定管理者の業務範囲を超える修繕については、状況の記録や費用、期間等を迅速に東京都に報告します。
- ・修繕を行う場合は、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律「建築物移動等円滑化基準」を遵守します。

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題5〔施設の維持管理その他管理運営に関する業務〕1 施設、附属設備及び物品の維持管理

<再委託業務一覧表>

区分	No	委託業務	業務内容	注意点
電気	1	電気設備点検	点検・調整・試験・修繕	電気事業法に基づく点検や、利用者に配慮した作業時期を調整する
電気	2	通信設備・映像設備点検	点検・調整・修繕	利用者に配慮した作業時期を調整する
電気	3	監視・制御設備・防犯カメラ点検	点検・調整・修繕	関係者と調整した作業時期とする
電気	4	太陽光発電設備点検	点検・調整・修繕	電気事業法に基づいた点検とし、利用者に配慮して作業時期を調整する
建築	5	建物点検	点検・検査・修繕	特に建物内では利用者の安全管理を徹底する
建築	6	工作物点検	点検・検査・修繕	点検時期の調整、利用者の安全管理を徹底する
建築	7	昇降設備点検	点検・検査・調整・修繕	点検時期の調整、利用者の安全管理を徹底する
建築	8	自動扉設備点検	点検・検査・調整・修繕	点検時期の調整、利用者の安全管理を徹底する
消防	9	消防設備点検等定期点検	点検・調整・試験・修繕	消防法に基づく点検の実施や、作業時期の調整、関係者や利用者への事前周知を行う
空調	10	空調設備点検	点検・調整・清掃・修繕	点検時期の調整、利用者の安全管理を徹底する
通信	11	放送設備点検	点検・調整・修繕	点検時期の調整、利用者の安全管理を徹底する
給排水	12	給排水衛生設備点検	点検・清掃・修繕	作業時期の調整、利用者等への事前周知を行う
給排水	13	雨水処理設備点検	点検・調整・修繕	点検時期の調整、利用者の安全管理を徹底する
測定	14	環境測定	測定・分析・調査	測定時期は調整を行い適期に実施する
清掃	15	定期ガラスおよび建物清掃	点検・調整・清掃	利用者に配慮した作業時期を調整する
清掃	16	水面清掃	点検・清掃	利用者に配慮した作業時期を調整する
清掃	17	廃棄物処理等	積込・運搬・処理	産業廃棄物の処理についてはマニュフェスト伝票による適正な手続きを行う
警備	18	警備業務	巡回・点検	大会時やイベント時等は特に多くの利用者が来場されるため適切な案内・誘導を行う
警備	19	機械警備	警備・作動確認	設備が正常に作動するか確認を確實に行う
植栽管理	20	植物管理作業	芝生・低木・中高木・草花の管理	強風が予想されるため折れ枝等は速やかに撤去する
植栽管理	21	防風林管理作業	防風林の管理	新規植栽が多いため強風による樹木の傾き等に注視する
水門管理	22	水門・揚排水ポンプ管理運営業務	点検・監視・運転	特に天候状況に注視し、気象庁等からの発表内容や都との協議に基づき、適切な水門の開閉を行ふ
競技コース	23	競技コース施設点検	点検・調整・修繕	利用に支障のない時期に実施する
貸出艇	24	貸出艇点検	点検・調整・修繕	利用に支障のない時期に実施する

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

## (1) 危機管理及び災害対応

### <基本的な考え方>

- ◇当共同企業体は、年間に4,000万人以上の利用がある都市公園やスポーツクラブを運営しており、マニュアルの整備や指揮系統の確立、体制の構築などにより、お客様の安全を確保しています。当施設の危機管理や災害対応については、これらのノウハウと実績をいかし、万全の対策を講じます。
- ◇当共同企業体代表がデータ化する都市公園等での事件事故の発生状況は、怪我・負傷、病気、車両事故、事件の順となっており、当施設においても、利用の形態や動向等に応じた対策を講じます。
- ◇当施設は、立地特性から台風時の高潮やゲリラ豪雨、首都直下型地震などを想定し、対策を講じる必要があります。当共同企業体代表は、風水害や震災、感染症などの対応経験をいかし、あらゆる災害の被害を最小限に留めます。
- ◇当共同企業体は、自らの安全を確保するため、「安全衛生管理共通マニュアル」に沿い、体制を明確化し、職場における安全の確保と健康の保持増進を図ります。また、建設業の現場等で実施される「ゼロ災害全員参加運動」に倣い、労働災害の防止を図ります。

### <具体的な実施内容>

#### ①危機管理体制

- ・事故や事件、災害の規模に応じて「注意」、「警戒」、「非常」体制をとります。体制の構築にあたっては、気象庁の情報と連動した緊急安否確認システム「エマージエンシーコール」を導入し、職員の安否確認と緊急参集要員を確保します。
- ・総括責任者が危機管理責任者として現場の指揮や東京都をはじめとする行政機関との連絡窓口を務めます。
- ・各業務責任者は対策班長として、施設内滞在者や被害状況を把握のうえ、各施設のスタッフに避難誘導や救護活動の指示をします。
- ・各スタッフは、対策班員として、担当施設の被害状況の確認と報告をはじめ、施設内滞在者の避難誘導と救護にあたります。
- ・共同企業体本社は、下記3段階の体制基準に応じて対策本部を立ち上げ、現場への人的物的な支援を行います。
- ・当共同企業体代表の最高責任者が対策本部長を務め、支援内容等を迅速に決定します。
- ・災害発生時には、物資の備蓄や救護医療スペース等の役割を担う施設として東京都に協力します。

#### 危機管理体制基準

	注意体制	警戒体制	非常体制
テロ	都内で発生（可能性）	当施設で発生の可能性	当施設で発生の予告あり
感染症	国内発生	都内発生	施設内発生
地震	震度4	震度5	震度6
台風	影響の可能性あり	災害発生の可能性あり	重大な災害が発生
大雨	注意報発令	警報・避難勧告発令	

#### ②事故・事件・トラブル

- ・当施設は水域が多く、主な利用が水面となることから、落艇による溺水などの防止を図るため、巡回や救命浮き輪の点検、緊急連絡先の表示などを行います。また、競技利用を除いては、ライフジャケットの着用を義務化するほか、利用時に注意事項への同意を得ることで、お客様自身の安全に対する意識の向上を図ります。
- ・怪我や病気等の防止を図るため、トレーニング利用時には体調チェックやウォーミングアップの実施、用具等のチェックと適切な利用を受付時に呼びかけます。また、屋内外でスポーツ活動を行うことから、湿球黒球温

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

## 提案課題 5 [ 施設の維持管理その他管理運営に関する業務 ] 2 その他管理運営に関する事項

- 度を測定し、休息や水分補給など熱中症を防止する放送を行います。
- 当施設は車輛による来場が多く見込まれることから、施設内の走行速度等を遵守するよう表示等を行うほか、繁忙日は警備員を配置し、円滑な誘導を行います。
  - 当施設は国際海上コンテナターミナルに隣接していることから、多くの貨物トラックが通行するため、ヒアリの侵入などに対して、環境省の対策を参考にアリ塚の発生確認を行い、発見した場合は関東地方環境事務所に通報するとともに熱湯による駆除を行います。
  - 急速に分布の広がるセアカゴケグモの定着や繁殖を防止するため、「セアカゴケグモ対策マニュアル」に沿い、排水溝の側面や蓋の裏など、施設等の影を中心に確認し、発見次第駆除します。
  - すべてのスタッフが普通救命講習を受講し、応急手当やAEDの取扱いに関する知識と技術を習得します。
  - 飲食サービスにおいては、「飲食物販施設運営マニュアル」に基づき、安全衛生講習会や日常点検、検査を行うほか、当共同企業体代表本部より食品衛生を啓発する注意喚起の通達とポスターの配布を毎月行うことで、食中毒や賞味期限切れ商品の販売を防止します。
  - 当施設は、周辺に住宅がなく、夜間は犯罪等が発生する可能性があることから、警察庁の「安全・安心まちづくり推進要綱」に沿い、防犯カメラの設置や照明の照度確保、近隣警察署に定期パトールを要請します。
  - 当施設の周辺も巡回ルートに設定し、不法投棄や放置車輛、不審停泊船などを確認します。
  - 東京2020や国際大会等の開催にあたり、テロの防止を図るために、海上保安庁や警視庁の官民連携による対策を講じるとともに、「危機管理マニュアル（犯罪テロ編）」に基づく警戒表示や不審行動者の確認をします。

### ③震災

- 当共同企業体代表は、過去に発生した震災において、沿岸部からの誘導や帰宅困難者の受け入れなどから、地震発生後の役割や対応内容を明確にした「危機管理マニュアル（地震編）」を作成しており、規模や被害状況の確認、人命救助や避難誘導など適切な初動対応にあたります。
- 地震は発生頻度が低く、予測が困難なため、状況把握や情報伝達、避難誘導など、繰り返しの訓練により習熟度の向上を図ります。
- 東京都が想定する首都直下型地震発生時の被害では、東京湾埋立地の最大津波高は2mとなっていることから、隣接する海の森公園（仮称）に避難誘導します。

#### 震災対応実績

地震名	公園	内容
福岡西方沖地震	国営公園（福岡市）	園内での避難誘導
新潟県中越地震	国営公園（新潟県）	自衛隊のベースキャンプ受入れ
東北地方太平洋沖地震	国営公園（東京都）	帰宅困難者受入れ

#### 災害の経過時間に応じた対応内容 ※東京都の指示に従い迅速に対応

段階	時期	目標	内容
予防	発災前	対策準備	関係機関との連絡体制構築、防災訓練の実施、防災意識の啓発活動

#### 災害発生

直後	～3時間	生命確保	人命救助、避難誘導、被災状況の調査、情報提供、災害用施設の使用準備
緊急	～3日	生命維持	災害状況調査、情報提供、災害用施設の使用開始、食料等の救援物資の確保、ライフラインの復旧、危険箇所の立入規制
応急	3日 以降	生活 確保	被災状況の調査、適切な情報提供、医療・給水・風呂などの救援活動、支援ボランティアの受入れ
		生活再建	競技場施設の復旧、建物等の提供

### ④風水害

- 東京都の防災アプリをスマートフォンやタブレット端末にダウンロードするほか、インターネットのアラートシステムを活用し、常に気象情報を迅速に入手します。
- 利用制限や休館が見込まれる場合は、ホームページ等で情報を提供します。

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

## 提案課題 5 [ 施設の維持管理その他管理運営に関する業務 ] 2 その他管理運営に関する事項

- ・風雨による看板や仮設物の破損、飛散がないよう巡回時に確認し、撤去や固定をします。
- ・建物内に浸水の可能性がある場合は、必要に応じて土嚢を用意し、入り口や扉等の前に並べます。
- ・風雨が収まった後に被害状況を確認し、必要に応じて清掃を行います。

### ⑤雷

- ・雷は短時間のうちに発生し、通過する傾向があり、迅速な情報入手と避難誘導が重要となることから、「危機管理マニュアル（雷編）」に沿って対応します。
- ・雷雲の接近を 5 段階で表示及び通知する雷検知システムを導入し、襲来までの時間や雷雲までの距離に応じて段階的に対応します。
- ・避難や誘導を呼びかける際は、落雷した付近への放電による側撃雷を防止するため、高さ 5m未満の物体周辺や高さ 5mから 30m未満の物体から 4m未満の位置、建物の軒先を避けるよう案内します。
- ・雷の影響により、利用制限や休館が見込まれる場合は、ホームページ等で情報を提供します。

### ⑥竜巻

- ・竜巻は発生の予測が困難かつ移動速度が速いため、兆候の把握と情報収集、迅速な避難誘導により被害の最小化を図ります。天気予報や気象情報にて「大気が不安定」や「激しい突風」などが表現される場合は、竜巻の発生の可能性があるため、注意するとともに朝礼等でスタッフに情報共有します。
- ・竜巻が発生した場合は、車内等を避け、艇庫棟やグランドスタンド棟などコンクリート製の建物内への避難を呼びかけ、窓からは離れるよう案内します。また、竜巻が通過及び消失した後に被害状況を確認し、復旧等に時間が掛かる危険性のある場所は、立ち入り制限をします。

### ⑦感染症

- ・デング熱や新型インフルエンザなどの感染症が発生した際は、「危機管理マニュアル（感染症編）」に沿い、情報収集や感染予防、利用制限などの対策を講じます。
- ・当共同体代表が指定管理者をつとめる新宿区立公園では、ヒトスジシマ蚊によるデングウィルス感染症が発生した際に「水たまりゼロ作戦」を実績があります。そのため、放置バケツや鉢植えの下皿、ブルーシートなどに水が貯まらないようにするほか、排水溝の清掃を行い、蚊の発生が多い時期は、看板や放送等を通じて、お客様に注意喚起を図ります。
- ・高病原性鳥インフルエンザの集団発生は、渡り鳥が伝播に関与している可能性が考えられており、複数の鳥が死んでいる場合や、異常が考えられる場合は、速やかに自然環境部計画課鳥獣保護管理担当へ連絡します。
- ・野生の鳥は体内や羽毛などに細菌や寄生虫などの病原体を持つ場合があるため、素手で触ることを避けます。また、糞が靴の裏に付着することで感染が広がる恐れがあるため、細心の注意とともに靴裏の消毒を行います。

### ⑧労働安全衛生

- ・当共同体代表が管理運営する都市公園において、スタッフに関係する事故データを分析した結果、①作業中の負傷、②体調不良・既往症の発症、③車両事故が多く、時期は夏季（7-9月）が約 4 割、年齢は 60 代が最も多い傾向にありました。また、当施設の事故防止にあたっては、頻度や時期、スタッフの属性などから、発生する可能性のある事故を想定し、その対策を講じます。
- ・安全衛生委員会を組織し、安全衛生計画を策定のうえ、研修や講習会、安全パトロールを実施します。
- ・多くの事故は「不注意・不適切・不足」から発生することから、独自の安全衛生管理マニュアルに沿い、作業内容や手順、服装、安全対策の確認のほか KY 訓練などを朝礼時に行います。
- ・60 歳以上のスタッフを雇用する場合は、雇用時健康診断のほか、定期健康診断の結果から健康状態を把握するとともに、朝礼や定期面談時に健康状態を確認します。
- ・夏季は気温の上昇により熱中症や注意力が散漫になる傾向があり、スズメバチによる被害も増加するため、「事故防止強化月間」と定め、注意喚起や休息等の頻度を多くします。
- ・車両事故の防止を図るため、独自の車両運行規則と罰則規定を設けるほか、安全運転講習を受講します。

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

## (2) 地球環境への配慮

### <基本的な考え方>

- ◇当共同企業体は、「東京都環境確保条例」に基づき、「カーボンマイナス東京 10 年プロジェクト」、「緑の東京 10 年プロジェクト」などの環境施策を踏まえ、**エネルギー使用量の抑制**に取組みます。
- ◇持続的発展が可能な社会の実現を目指し、「P D C A サイクル」に取組むとともに、海の森エリアが創出する環境や資源への感謝を込めて「もったいない（環境 3 R+R）」の「4R」行動を推進します。

### <具体的な取組>

#### ①スマートエネルギー都市の実現に向けて 【エネルギー使用量の削減、再生可能エネルギーの活用】

省エネルギーへの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節電のため、晴天日に自然光を積極的に取り入れ、窓側の照明オフなど室内照度の調整を行います。また、防犯面にも配慮しながら、照明の間引き点灯を行います。</li> <li>・節水のため、節水コマの導入をするほか、日常的な水道メーターチェックにより漏水等の速やかな確認・修繕に努めます。</li> <li>・利用者にも、当施設の太陽光発電や雨水利用などの省エネルギーに向けた取組をホームページ、解説パネルなどで紹介・啓発します。</li> </ul>
再生エネルギー利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気の購入に当たっては、「東京都グリーン購入ガイド」における水準 1 及び水準 2 の両条件を満たす小売電気事業者から調達します。</li> </ul>
省エネ型自販機の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排熱を有効活用することで、従来機に比べ電気使用量を 30% 削減可能な「ヒートポンプ式自動販売機」を設置します。夏季の電気消費ピーク時に一定時間の冷却停止をするピークカット機能や、販売直前の商品のみを冷却・保温するゾーンヒーティング・冷却機能などにより、環境負荷の低減を図ります。</li> </ul>
排気ガスの抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理用車両は電気自動車とすることで、排気ガスの抑制とともに、災害発生時の電気供給を可能とします。また、日常点検の移動手段は、電動アシスト付自転車を基本とし、管理車両の使用は必要最低限に留めます。</li> </ul>
エネルギーコストの削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、当施設が東京都環境局「東京都総量削減義務と排出量取引制度」における指定地球温暖化対策事業所となった場合は、二酸化炭素等の温室効果ガスの総排出量をあらかじめ定められた排出上限量以下にすることが義務付けられるため、その履行に努めます。</li> </ul>

#### ②「東京 2020 大会に向けた暑さ対策推進事業」に基づく取組 【光熱量の抑制、利用者の安全確保】

クールスポット等の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微細ミストの設置やグリーンカーテンの推進など、暑さを緩和するクールスポットを創出することにより、当施設の利用者が真夏でも心地よく過ごせる環境を目指します。</li> </ul>
屋上緑化の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・艇庫棟の屋上緑化システム（グリーンボンド制度）の取組みを、利用者にもわかりやすい解説版を設置することで、環境問題の意識向上と屋上緑化の普及啓発に貢献します。</li> </ul>
適切な植物管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海の森公園（仮称）と一体となったグリーンインフラを形成し、樹木・芝生を良好な状態に保つことで、大気浄化や気象緩和の効果をもたらします。</li> <li>・植栽木については、計画的な剪定、害虫駆除により良好な生長を促し、将来的な緑陰形成に努めます。</li> </ul>

#### ③資源循環 【廃棄物発生の抑制・リサイクル推進・適正処理】

廃棄物減量への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技団体等を通じてゴミの持帰り運動を推進することで、廃棄物の発生を抑制します。</li> <li>・シュレッダーの使用は機密文書に限り裏紙利用に努めます。</li> <li>・植物性発生材を含む廃棄物については、法令を遵守しながら、再資源化施設での処理を基本とします。</li> </ul>
リサイクル率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者へのゴミ分別の徹底をはじめ、エコキャップ推進運動に協力を行うことで、リサイクル率の向上に努めます。</li> <li>・舗装修繕等の実施の際は、再資源化されたエコマテリアルの利用促進に努めます。</li> </ul>
グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙、事務用品等はエコマーク商品やグリーンマーク商品、再生紙使用マークのついた商品を優先的に購入や使用するなど「グリーン購入」に努めます。</li> </ul>

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

## 提案課題 5 [ 施設の維持管理その他管理運営に関する業務 ] 2 その他管理運営に関する事項

### (3) 個人情報の保護

#### ① 「東京都個人情報の保護に関する条例」に則った管理体制の構築

- 当施設では、有料施設利用をはじめ、イベントの申込時や参加時、遺失物及び拾得物の届け時などに個人情報を多数取得するため、「海の森水上競技場個人情報保護マニュアル」を作成した上で、適正な管理を行います。
- 施設長を個人情報取扱責任者**とし、個人情報の漏えい防止のために必要な措置にあたるとともに、有料施設及びイベントなど取扱い業務ごとに個人情報取扱者を選任し、管理の記録などにあたります。
- すべてのスタッフと、個人情報はもちろんのこと、業務上知り得た秘密を第三者に漏らさないこと、業機関終了後、離職後も同様とすることを明記した「機密および個人情報の守秘に関する誓約書」を取り交わします。
- 個人情報保護方針**を以下のとおり定めます。
  - 個人情報の収集に際しては、予め収集・利用目的を告知し、お客様の同意の上で収集いたします。また、同意を得た利用目的にしたがって個人情報を取り扱います。
  - 個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止その他の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。
  - 個人情報を取り扱う職員等及び委託先に対する必要かつ適切な監督を行います。
  - 個人情報の取扱いに関する苦情の適切かつ迅速な処理を致します。
  - 個人情報の取扱いにおいて当該個人情報の保護に適用される法令及びその他の規範を遵守します。

#### ② 個人情報の取扱い方法

- 個人情報が記載された書類は、不正コピー、持ち出し、紛失等の原因となるため、部外者の目に触れないよう所定の場所に保管し、その場を離れる時は施錠します。
- 個人情報取扱責任者や個人情報取扱者の許可なく、個人情報の記載された書類やデータの移動、コピーはしません。
- 個人情報が含まれる書類は、処分のルール（保管年数等）を定めるとともに、処分の際は裁断や溶解処分により廃棄し、データについては物理的に破壊または消去します。
- 個人情報が含まれる用件を電子メールにて送る際は、添付ファイル化し、パスワードを設定のうえ、取り扱うスタッフのみに伝えます。

#### ③ 情報セキュリティの向上

- 当共同企業体では、効率的に管理運営を行うため、事故や災害記録、イベント情報、お客様の声など、様々な情報をデータベース化し、共有するシステムを採用しています。これらの情報に対し、不正アクセスやコンピュータウィルスの感染による漏洩や流出を防止するため、当共同企業体の「情報セキュリティ基本方針」及び「パソコンネットワーク管理運営要領」に沿った対策を講じます。
- 当共同企業体代表本社の統制の下、施設長をネットワーク管理者とし、ハード及びソフトウェアの管理、ネットワーク機器の監視及び管理のほか、情報の取扱いやルールに関する指導を行います。
- ファイヤーウォール機器の設置により、外部との通信制御や内部ネットワークの安全を確保します。
- コンテンツフィルタリングを設定し、インターネットを通じて出入りする情報の監視と問題のある接続を拒否及び遮断します。
- セキュリティソフトを導入し、ウィルスを検知した際に隔離し、管理者に通知します
- SPAM メール対策機器を導入し、メールによる攻撃を防止します
- 東京 2020においては、情報セキュリティやサイバーテロに関する東京都の対策に従います。

### (4) コンプライアンスの遵守

すべてのスタッフを対象に、当施設の運営期間開始前に「コンプライアンス研修」を実施し、「管理運営基準」に示されている東京都体育施設条例をはじめとした法令を十分理解し、遵守します。

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

## 提案課題6〔収支計画〕

### ○収支計画の考え方

#### <基本的な考え方>

- ◇当共同企業体は、東京2020で高まるスポーツへの関心と、当施設への期待に応えるべく、魅力的なスポーツ振興事業、自主事業、周辺連携事業、利用者サービス事業を実施することで、都民・国民の健康で豊かな生活に貢献します。そのためには、多様な主体との信頼を築きながら、当施設の設置目的と求められている質を達成する能力を持った「人財」と、健全かつ安定した管理運営を遂行していくための「資金」が必要であると認識します。
- ◇収入・支出の計画は、当共同企業体のこれまでの多くの実績とネットワークを活用し、利用者ならびに東京都にとって効果的・効率的な管理運営を実行できるスタッフ体制とともに、各構成団体の強みを発揮できる無理無駄のない収支計画を策定しました。

#### <委託費の支出について>

##### ①全スタッフが一丸となって取組み、一人ひとりが能力を活かすことで支出を抑制

- ・当共同企業体構成団体4社のそれぞれの技術力を存分に発揮できる正規職員を配置し、担当業務のみならず互いの業務を補完しながら効率化を図ります。
- ・東京2020終了後は、施設長の指揮の下、全スタッフ17名がひとつのチームとして機能することで、異常やトラブルを迅速かつ的確に解決し、外注費を抑えます。
- ・施設長補佐、各業務責任者、各業務担当者、現場スタッフの一人ひとりが持ち場に責任を持って取組みます。
- ・スタッフのマルチ化、作業の直営化によって外注費を抑えます。

##### ②多様な主体との連携によりスポーツ振興事業費を抑制

- ・ボート、カヌーなど貸し出し艇を使用した体験プログラムや、フィットネスプログラムなどの実施にあたっては、競技団体との連携により指導員派遣や当施設スタッフが運営にあたることで運営費を抑えます。

##### ③効率的な広報活動による印刷物制作費などの抑制

- ・ホームページやSNSを活用し、きめ細やかな情報の発信、話題づくりなどを行うとともに、プレスリリースによりパブリシティの獲得を図ります。
- ・大会・合宿・団体利用への訪問営業を積極的に実施します。

##### ④管理事務所における省エネ活動による支出の抑制

- ・印刷は業務日報や点検報告書などの公式記録とし、ペーパーレス、裏紙使用を推進します。
- ・自転車による巡回点検、無線機導入、照明の間引き点灯、水道節水コマ、エアコンの温度設定など、燃料費、通信費、光熱水費を抑えます。

##### ⑤塩害や粉塵などによる施設の劣化を防止するためのこまめな清掃

- ・サインや設備機器など、こまめな清掃を行い、劣化の進行を遅らせることで故障を防ぎます。
- ・エアコンのフィルター洗浄などをこまめに実施し電気代を節約します。

##### ⑥清掃消耗品の本社一括契約による購入費の抑制

- ・トイレットペーパーやゴミ袋など、全国事業所使用数による一括見積を徴収し、最安値で購入します。

##### ⑦ゴミの持ち帰り運動の推進による廃棄物処理費の抑制

- ・ゴミ箱の設置数を必要最低限とし、持ち帰りを促す表示を館内に掲出します。

##### ⑧造園管理の直営化による外注費の抑制

- ・芝刈、除草、倒木、折れ枝などの作業を可能な限りスタッフ直営で実施します。

##### ⑨冬季の休館日における点検・修繕の集中作業による現場管理費などの抑制

- ・12月・2月の水上競技利用のオフシーズンに休館日を設け、施設・設備の点検や修繕を集中的に実施することで、警備や仮設物などの費用抑制と工期短縮を図ります。

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

## 提案課題6〔収支計画〕

### ⑩巡回点検による異常の早期発見で修繕費を抑制

- ・1日4回の巡回点検により、施設の破損や欠損、設備の異常警報などを早期に発見することで、最小被害に止め、修繕費などを抑えます。

### ⑪周辺地域の専門業者ネットワークによる迅速な対応と経費の抑制

- ・当共同企業体各構成団体が持つ周辺地域での専門業者ネットワークにより、異常や故障が発生した際に速やかな対応を依頼することができます。これにより被害と費用を抑えることができます。

### ⑫電力供給事業者の選定

- ・電気供給事業者は価格競争により決定します。

## <利用料金収入及び自主事業収入について>

- ・年間来場者目標35万人を達成することで、利用料金収入を確保します。
- ・利用者のニーズを掴んだ自主事業・利用者サービスの提供により、安定的な収入を確保します。
- ・魅力的なイベントを開催し、全都的・広域的な利用と安定的な参加料等収入を確保します。

## <収支に赤字・黒字が生じた場合の取扱いについて>

- ・赤字分は当共同企業体内で負担します。
- ・黒字分は利用者サービスの向上につながる取組みに充当します。

指定管理料収支で利益が生じることが見込まれる場合は、以下の順番で充当します。

- ①スポーツ振興事業、自主事業、周辺連携事業
- ②施設の管理、修繕、競技用備品の更新等
- ③東京都への還付

## <収益向上の取組み（指定管理料の削減額）>

### ●取組のポイント

- ・水上競技団体とのこれまでの信頼関係に基づき、大会・合宿の目標件数を達成することで利用料金を確保します。
- ・水上競技コース、園路広場、屋内のスペースを最大限活用した、多彩なイベントの実施による利用料金と自主事業収入を確保します。あわせて、周辺施設との連携・協働や企業協賛の誘致を図ります。
- ・利用者のニーズと利用動向にマッチした満足度と収益性の双方を最大化させる、利用者サービス事業を実施します。
- ・当施設は東京2020の会場として、建設・土木などの高度な技術によって建設される国際基準の水上競技場です。水上競技コースや水門設備などの特殊性の高い施設は、予期せぬ異常・故障が発生する恐れがあります。また、風水害や地震災害による被害も想定しなければなりません。よって、すべてのスタッフが支出の抑制と収入の増を常に意識しながら業務に取組みます。
- ・周囲が海に囲まれていることから、強風・潮風、高潮など気象の影響による被害をハード・ソフトの両面で想定し、日々の点検により異常の早期発見に努めることで、物的被害・費用的損害を最小限に止めます。

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

提案課題6〔収支計画〕

〔 指定管理料の削減額 〕

項目	2019～2022年度
東京都提示 【参考価格・年間指定管理料】	181,417,000円
当共同企業体提案の年間指定管理料	181,390,000円
削減額	27,000円

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題6 別表 指定管理期間中の収支計画

(1) 支出の計画

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計	内容	備考
人件費	正規職員						別紙1積算内訳①
	臨時職員					アルバイト、派遣職員、非常勤職員等	
	人件費計(A)						
事業費 管理運営費	光熱水費					電気・水道・燃料	別紙1積算内訳②
	消耗品費等					消耗品、備品、印刷製本、原材料、建物・設備等修繕費等	別紙1積算内訳③
	役務費					電話・通信・運搬費等	別紙1積算内訳④
	委託費(維持管理費等)					設備保守・清掃・警備・その他業務委託等	別紙1積算内訳⑤ 及び別紙2委託費内訳
	賃借料					リース料等	別紙1積算内訳⑥
	その他の					諸謝金・旅費交通費・その他経費	別紙1積算内訳⑦
	小計						
間接費						管理運営に伴う本社等の経費(人件費を含む。)	
合計							
消費税						仮受消費税から仮払消費税を引いた金額	
管理運営費計(B)							
スポーツ振興事業費	事業費						事業計画書 3-1-(1) 【スポーツ振興事業】
	間接費					入ホーツ振興事業運営に伴う本社等の経費(人件費を含む。)	
	合計						
	消費税					仮受消費税から仮払消費税を引いた金額	
	入ホーツ振興事業費計(C)						
支出合計(D=A+B+C)							

提案課題6 別表 指定管理期間中の収支計画

(2) 収入の計画							単位：千円
項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計	内容	備考
管 理 運 営 費	体 育 施 設 利 用 料 金					専用・個人の施設利用料金、自主事業の施設利用料金	別紙積算内訳⑧
	そ の 他					預金利子、利用者サービス事業に伴う光熱水費等	別紙積算内訳⑨
	管 理 運 営 費 計 ( E )						
ス ポ ツ 事 業 費	参 加 料						事業計画書 3-1-(1) [スポツ振興事業]
	そ の 他					協賛金等	
	入 手 一 ツ 振 興 事 業 費 計 ( F )						
そ の 他 ( G )						自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業からの繰入額	事業計画書 3-1-(2)(3)(4)
収 入 合 計 ( H = E + F + G )							

(3) 都からの委託料							単位：千円
項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合 計	内容	備考
都 か ら の 委 託 料 ( D - H )	181,390	181,390	181,390	181,390	725,560		

※ (参考) 自主事業、周辺連携事業及び利用者に対するサービス提供事業の収支 (積算内訳は事業計画書3-1-(2)(3)(4))

単位：千円

項目	31年度			32年度			33年度			34年度		
	収入	支出	差引									
自 主 事 業												
周 辺 連 携 事 業												
利 用 者 に 対 す る サ ー ビ ス 提 供 事 業												
合 计												

## 提案課題6 別紙1 収支計画の積算内訳

#### (4) 収支計画の積算内訳

(金額等の数字は収支計画の記入金額と整合させてください。)

## ① 人件費積算内訳

单位：千円

第十一章 会计政策、会计估计及其变更和差错更正

## ② 光熱水費積算内訳

单位·千円

② 営業外費用内訳					単位：円
項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
電気料					
水道料					
燃氣料					
合計					

### ③ 消耗品費等積算内訳

单位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
消耗品・備品					
印刷製本					
合計					

#### ④ 役務費積算内訳

单位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
電 話					
通 信					
運 搬 費					
合計					

## ⑤ 委託費（維持管理費等）積算内訳

単位：千円

内訳は提案課題6 別紙2「(5)委託費（維持管理費等）積算の内訳」のとおり

## ⑥ 借貸料積算内訳

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
リース料					
合計					

⑦ 管理運営費・その他支出積算内訳

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
旅費交通費					
保険料					
合計					

⑧ 体育施設利用料金収入積算内訳

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
合計					

(⑧体育施設利用料金収入の積算補足資料)

⑨ 管理運営費・その他収入積算内訳

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
合計					

## 提案課題6 別紙2 ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳

各項目等の内容については、別紙仕様書による。

分類	作業の種類	(H31・32) 金額(円)	(H33・34) 金額(円)
電気設備	電気設備点検・修繕		
電気設備	通信設備・映像設備点検・修繕		
電気設備	監視・制御設備・防犯カメラ		
電気設備	太陽光発電設備点検・修繕		
建築設備	建物点検・修繕		
建築設備	工作物点検・修繕		
建築設備	昇降設備点検・修繕		
建築設備	自動扉設備点検・修繕		
消防設備	消防設備点検・修繕		
空調設備	空調設備点検・修繕		
通信設備	放送設備点検・修繕		
給排水設備	給排水衛生設備点検・修繕		
給排水設備	雨水処理設備点検・修繕		
測定業務	環境測定		
清掃業務	定期ガラスおよび建物清掃		
清掃業務	水面清掃		
清掃業務	廃棄物処理		
警備業務	警備業務		
警備業務	機械警備		
警備業務	安全監視・誘導整理		
植栽管理	植物管理作業		
植栽管理	防風林管理作業		
水門管理	水門・揚排水ポンプ運営業務		
競技施設等	競技コース施設点検		
競技施設等	貸出艇点検		
計			